

AGP カードをインストールの際には、以下の注意事項をよ くお読みになり、必ずそれに従ってください。ご使用の AGP カードに"AGP 4X/8X(1.5V)ノッチ"(下図参照)がある場 合、AGP カードは AGP 4X/8X であることを確かめてくださ い。



注意: VIA KT880 は AGP 2X カードをサポートしていません。これでシステムが正常に起動しないことがあります。 AGP 4X/8X カードを差してください。



例 1: Diamond Vipper V770 ゴールデンフィンガーは 2X/4X モ ード AGP スロットと互換性を有します。ジャンパー調節に より AGP 2X (3.3V)と4X (1.5V)のモード切替が可能です。こ のカードの工場出荷時デフォルトは 2X (3.3V)です。 GA-7VT880 Pro / GA-7VT880-L / GA-7VT880 (または AGP 4X/8X の み)マザーボードは、ジャンパーを 4X (1.5)モードに切り替 えずに取り付けると、正しく作動しない場合があります。

例 2: "Power Color"というグラフィックスカードメーカー製 ATi Rage 128 Pro グラフィックスカードおよび SiS 305 カード の数種はゴールデンフィンガーが 2X (3.3V)/4X (1.5V)モード AGP スロットと互換ですが、サポートするのは 2X (3.3V)の みです。GA-7VT880 Pro / GA-7VT880-L / GA-7VT880 (または AGP 4X/8X のみ)マザーボードは、このカードをインストールす ると正しく作動しない場合があります。

注: Gigabyte's AG32S(G)グラフィックスカードは ATi Rage 128 Pro チップ搭載ですが、AG32S(G)の設計は AGP 4X (1.5V)規格 準拠です。それで、AG32S(G)は VIA KT880 搭載のマザーボー ドで正常に動作します。



PCIカードをインストールする前に、PCIスロットに付いて いる Dual BIOS ラベルを取り外してください。



- ●※記載内容の誤り・不適切な表現、誤字脱字など、その結果生じたいかなる損害等に関しても、本書の作者は一切の責任を負いかねます。
- ●※本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標 または登録商標です。
- ●※マザーボード上のラベルを剥さないでください、これに従わない場合は、本マザーボードの保証が無効にされる場合があります。
- ●※情報技術の急速な進歩により、本書を出版後、仕様 が変更される場合がありますので、ご了承ください。



- **WARNING:** Never run the processor without the heatsink properly and firmly attached. PERMANENT DAMAGE WILL RESULT!
- Mise en garde : Ne faites jamais tourner le processeur sans que le dissipateur de chaleur soit fix correctement et fermement. UN DOMMAGE PERMANENT EN RÉSULTERA !
- Achtung: Der Prozessor darf nur in Betrieb genommen werden, wenn der W rmeableiter ordnungsgem β und fest angebracht ist. DIES HAT EINEN PERMANENTEN SCHADEN ZUR FOLGE!
- Advertencia: Nunca haga funcionar el procesador sin el disipador de calor instalado correcta y firmemente. ¡SE PRODUCIRÁ UN DAÑO PERMANENTE!
- Aviso: Nunca execute o processador sem o dissipador de calor estar adequado e firmemente conectado. O RESULTADO SERÁ UM DANO PERMANENTE!
- 警告: 将散热板牢固地安装到处理器上之前,不要运行处理器。过热将永远损坏处理器!
- 警告: 將散熱器牢固地安裝到處理器上之前,不要運行處理器。過熱將永遠損壞處理器!
- **경고:** 히트싱크를 제대로 또 단단히 부착시키지 않은 채 프로세서를 구동시키지 마십시오. 영구적 고장이 발생합니다!
- 警告: 永久的な損傷を防ぐため、ヒートシンクを正しくしっかりと取り付けるまでは、プロセッサを動作させないようにしてください。

Declaration of Conformity We, Manufacturer/Importer (full address) G.B.T. Technology Trading GMbH Ausschlager Weg 41, 1F 20537 Hamburg, Gemany declare that the product (description of the apparatus, system, installation to which it refers)

Mother Board GA-7VT880 Pro / GA-7VT880-L / GA-7VT880

is in conformity with (reference to the specification under which conformity is declared) in accordance with 89/336 EEC-EMC Directive

🗆 EN 55011	Limits and methods of measurement	🗵 EN 61000-3-2	Disturbances in supply systems caused
	industrials cientific and medical (ISM) high frequency equipment	⊠ EN 61000-3-3	Disturbances in supply systems caused by household appliances and similar electrical equipment "Voltage fluctuations"
□ EN 55013	Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of broadcast receivers and associated equipment	⊠ EN 55024	Information Technology equipment-Immunity characteristics-Limits and methods of measurement
□ EN 55014-1	Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of heurophold cleatrical applicances	□ EN 50082-1	Generic immunity standard Part 1: Residual, commercial and light industry
	portable tools and similar electrical apparatus	□ EN 50082-2	Generic immunity standard Part 2: Industrial environment
□ EN 55015	Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of fluorescent lamps and luminaries	□ EN 55014-2	Immunity requirements for household appliances tools and similar apparatus
□ EN 55020	Immunity from radio interference of broadcast receivers and associated equipment	□ EN 50091- 2	EMC requirements for uninterruptible power systems (UPS)
⊠ EN 55022	Limits and methods of measurement of radio disturbance characteristics of information technology equipment		
□ DIN VDE 0855 □ part 10 □ part 12	Cabled distribution systems; Equipment for receiving and/or distribution from sound and television signals	"	
⊠ CE marking			onformity marking)
	The manufacturer also declares th with the actual required safety sta	ne conformity of above andards in accordance	e mentioned product with LVD 73/23 EEC
□ EN 60065	Safety requirements for mains operated electronic and related apparatus for household and similar general use	□ EN 60950	Safety for information technology equipmer including electrical business equipment
□ EN 60335	Safety of household and similar electrical appliances	□ EN 50091-1	General and Safety requirements for uninterruptible power systems (UPS)
	<u>Manufa</u>	cturer/Importer	Signature : <u> </u>
(Stamp)	Date: May 13	8, 2004	Name : Timmy Huang

DECLARATION OF CONFORMITY				
Per FCC Part 2 Section 2.1077(a)				
FC				
Responsible Party Name: G.B.T. INC. (U.S.A.)				
Address: 17358 Railroad Street				
City of Industry, CA 91748				
Phone/Fax No: (818) 854-9338/ (818) 854-9339				
hereby declares that the product				
Product Name: Motherboard				
Model Number: GA-7VT880 Pro /GA-7VT880-L /GA-7VT880				
Conforms to the following specifications:				
FCC Part 15, Subpart B, Section 15.107(a) and Section 15.109(a), Class B Digital Device				
Supplementary Information:				
This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful and (2) this device must accept any inference received, including that may cause undesired operation.				
Representative Person's Name: ERIC LU				
Signature: Eric Lu				
Date: May 13, 2004				

GA-7VT880 シリーズ

AMD ソケット A プロセッサ マザーボード

ユーザーズマニュアル

AMD Athlon™ / Athlon™ XP / Duron™ソケット A プロセッサマザーボード 改版 1001 12MJ-7VT880-1001





警告	4
第1章 はじめに	5
特長の概略	5
GA-7VT880 シリーズマザーボードレイアウト	7
ブロック図	8

第2章 ハードウェアのインストール手順	9
ステップ1: システムジャンパーを設定(SW1)	9
ステップ 2:中央処理ユニット(CPU)のインストール ステップ 2-1:CPU インストール ステップ 2-2 : CPU 冷却ファンのインストール	10 10 11
ステップ3:メモリモジュールのインストール	12
ステップ4: 拡張カードのインストール	13
ステップ 5 : リボンケーブル、リード線およ び電源装置の接続 ステップ 5-1 : I/O 後部パネルの紹介 ステップ 5-2 : コネクタはじめに	14 14 16
第3章 BIOS のセットアップ メインメニュー(例:BIOS Ver :E9)	31 32

tandard CMOS Features	34
dvanced BIOS Features	36
ntegrated Peripherals	37

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 2 -

日本語

Power Management Setup	40
PnP/PCI Configurations	41
PC Health Status	42
MB Intelligent Tweaker (M.I.T)	43
Load Fail-Safe Defaults	45
Load Optimized Defaults	45
Set Supervisor/User Password	46
Save & Exit Setup	47
Exit Without Saving	47

章 技術情報	49
@BIOS™紹介	49
BIOS のフラッシュ方法の説明	50
2-/4-/6-チャンネルオーディオ機能紹介	57
Jack-Sensing 紹介	63
UAJ 紹介	65
Xpress Recovery 紹介	67
シリアル ATA BIOS 設定ユーティリティ紹介	71
	章 技術情報 @BIOS™紹介 BIOS のフラッシュ方法の説明 2-/4-/6-チャンネルオーディオ機能紹介 Jack-Sensing 紹介 UAJ 紹介 Vpress Recovery 紹介 シリアル ATA BIOS 設定ユーティリティ紹介

第5章 付録	7	7	ć	3
--------	---	---	---	---

警告



マザーボードと拡張カードには、非常に繊細な集積回路(IC)チップ が搭載されています。静電気からIC チップを保護するため、コンピ ュータを使用する際は必ず以下の注意事項に従ってください。

- 1. ケース内側を扱う際はコンピュータの電源プラグを抜いてください。
- コンピュータのパーツを取扱う前に、接地リストストラップを着用して ください。リストストラップがない場合は、接地物または金属物に両手 で触れてください。
- パーツは端面を持つようにし、IC チップ、リード線、コネクタやその他 パーツには触れないようにしてください。
- システムからパーツを外す際は、必ず、パーツを帯電防止パッド、また はパーツ付属のバッグの上に置いてください。
- 5. マザーボードから ATX 電源コネクタを外す際には、ATX 電源装置がオフ になっていることをご確認ください。

シャーシヘマザーボードのインストール...

マザーボードに取り付け穴がありますが、これらは基部の穴と合わなく て、スペーサーに取り付けスロットがない場合、心配しないでください。スペ ーサーは依然として取り付け穴に取り付けることができます。ただ、スペーサ ーの底部を切りますと、(スペーサーは多少硬いので手を切らないようご注意く ださい)。これでマザーボードを基部にショートの心配なく、取り付けることが できます。場合によっては取り付け穴付近に回路があるため、ネジがマザーボ ード PCB 表面に触れないよう、プラスチックワッシャーを使用する必要がある かもしれません。この際、ネジが取り付け穴付近の PCB プリント配線回路や部 品に触れないようご注意ください。接触するとボードの故障や動作不良を起こ す可能性があります。

第1章 はじめに

特長の概略

マザーボード	•	GA-7VT880 シリーズ:
		GA-7VT880 Pro / GA-7VT880-L / GA-7VT880
CPU	•	ソケット A プロセッサ
		AMD Athlon™ / Athlon™ XP / Duron™ (K7)
		128K L1 & 512K/256K/64K L2 キャッシュ 200/266/333/400
		MHz FSB
	•	1.4GHz 以上をサポート
チップセット	•	VIA KT880 メモリ/AGP コントローラ(PAC)
	•	VIA VT8237 統合周辺装置コントローラ(PSIPC)
メモリ	•	184 ピン DDR DIMM ソケット x 4、最大 4.0GB の DDR
		搭載可能(注1)
	•	デュアルチャンネル DDR400/DDR333/DDR266 をサポ
		-
	•	128MB/256MB/512MB/1GB バッファなし DRAM をサポ
		- ト
	•	2.5V DDR DIMM のみをサポート
スロット	•	1個のAGPスロットは8X/4Xモード(1.5V)サポート及
		び AGP 3.0 準拠
	•	5 個の PCI スロットは 33MHz および PCI 2.2 準拠
オンボード IDE	•	IDE コントローラ 2 個により、IDE HDD/CD-ROM
		(IDE1、IDE2)さらに、バスマスタ(Ultra DMA33/ATA66/
		ATA100/ATA133)モードに対応
オンボードフロッピ	•	1個のフロッピーポートで容量 360K、720K、1.2M、
_		1.44M および 2.88M の 2 基の FDD をサポート
オンボード SATA	•	2 つのシリアル ATA コネクタ
	•	VIA VT8237 による 2 つの SATA コネクタ(SATAO,
		SATA1)を制御
オンボード周辺デバ	٠	1 個のパラレルポートで通常/EPP/ECP モードをサ
イス		ポート
	٠	2 個のシリアルポート(COM A および COM B)
	٠	3 個の IEEE1394 ポート(ケーブルによる) ¹
	•	8 個の USB 2.0/1.1(リア 4 個、フロント 4 個 - ケーブ
	•	1個のフロントオーディオコネクタ
	•	1個の IrDA コネクタで赤外線通信サポート
	•	1 個の PS/2 キーボード
	•	1個の PS/2 マウス
オンボード LAN	٠	内蔵 RIL8110S (10/100/1000Mbit)(①)
	•	内蔵 RIL8100C (10/100 Mbit)(②)
	•	1 個の RJ45 ボート

① GA-7VT880 Pro 向けのみ。 ② GA-7VT88-L 向けのみ。

つづく……

(注1)標準 PC アーキテクチャに基づき、一定量のメモリがシステム用途に確保されます。従って、実際のメモリサイズは規定量より少なくなります。例えば、4GB のメモリサイズは、システム起動時には 3.xx GB と表示されます。

はじめに

日本語



オンボードサウンド	٠	Realtek ALC658 (UAJ)コーデック
	٠	Jack-Sensing サポート
	٠	2-/4-/6-チャンネル対応
	٠	ライン出力/ライン入力/マイク入力
	٠	SPDIF 出力/SPDIF 入力
	٠	CD 入力/AUX 入力/ゲームコネクタ
オンボード IEEE1394	٠	内蔵 VT6306(①)
オンボード SATA RAID	٠	VIA VT8237 内蔵
(SATA0, SATA1)	٠	ディスクストライピング(RAID 0)またはディスクミ
		ラーリング(RAID 1)対応
	٠	最大 150MB/s のデータ転送レート
	٠	最大 2 個の SATA デバイスをサポート
1/0 コントロール	٠	IT8705F
ハードウェアモニタ	•	CPU/システムファン回転数検出
	٠	CPU 温度検出
	٠	システム電圧検出
	٠	CPU/システムファン故障警告
	٠	過熱シャットダウン機能
BIOS	٠	Award 公認 BIOS
	٠	デュアル BIOS/Q-Flash をサポート ①
その他の機能	٠	@BIOS をサポート
	٠	EasyTune をサポート
オーバークロック	٠	BIOS によるオーバー電圧(CPU/AGP/DDR/PCI)
	•	BIOS によるオーバークロック(CPU/AGP/DDR/PCI)
フォームファクター	٠	30.5cm x 24.4cm ATX フォームファクター、4 層
		PCB。



CPU ホストクロックはプロセッサ仕様にしたがって、設定してください。システムバスクロックを CPU の仕様を超えて設定することは、CPU、チップセットおよび周辺デバイスの標準仕様とは異なるバスクロックとなるのでお勧めしません。システムが指定されたバスクロックで正常動作するかどうかは、CPU、チップセット、SDRAM、カードなどのハードウェア設定に依存します。

① GA-7VT880 Pro 向けのみ。

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 6 -



GA-7VT880 シリーズマザーボードレイアウト



① GA-7VT880 Pro 向けのみ。 ② GA-7VT88-L 向けのみ。



ブロック図



① GA-7VT880 Pro 向けのみ。 ② GA-7VT88-L 向けのみ。

GA-7VT880 シリーズマザーボード

第2章 ハードウェアのインストー -ル手順

お持ちのコンピュータの設定には下記のステップを完成させる必要がありま す:

日本語

ステップ 1-システムジャンパーを設定(SW1) ステップ 2-中央処理ユニット(CPU)のインストール ステップ 3-メモリモジュールのインストール ステップ 4-拡張カードのインストール ステップ 5-リボンケーブル、キャビネットのリード線、電源装置の接続



ステップ1:システムジャンパーを設定(SW1)

システムバスクロックは SW1 の調節で 100/133/166/200MHz といずれかに切り替え ることができます。



ハードウェアのインストール手順



ステップ2:中央処理ユニット(CPU)のインストール

プロセッサのインストールに先立ち、以下の注意事項に注意深く従っ くてください:

- 1. CPU の形式がマザーボードでサポートされているものであることを 注意 確認してください。
 - 2. CPU ソケットの1番ピンと CPU カット部を一致させないと、インス トールに問題が生じます。差す方向を合わせてください。

ステップ 2-1 : CPU インストール



CPU 上面図



CPU 底面図



 CPU ソケットレバーを引 き上げ、90 度の角度に起 こします。



 ソケットの1番ピンの位置を確認し、CPU上部の (金色の)カット部の位置を確かめます。それから CPUをソケットに差します。

GA-7VT880 シリーズマザーボード -

- 10 -



ステップ 2-2: CPU 冷却ファンのインストール

CPU 冷却ファンのインストールに先立ち、以下の注意事項に注意深く従 ってください:

- 注意 1. AMD 公認の冷却ファンをご使用ください。
 - 2. ご使用の CPU とヒートシンクの間にはサーマルテープを貼って放熱 効果を高めるようお勧めします。
 - CPU ファン電源ケーブルが CPU ファンコネクタに接続されていることをご確認ください。これでインストール完了です。 インストール手順の詳細は、お持ちの CPU ファンのユーザーマニュアルをご参照ください。



 CPU ソケットレバーを下 に押し、CPU のインスト ールを完了してくださ い。



AMD による認証済みのファンをご利用ください。



 マザーボード上の CPU ソ ケットに冷却ファン固定 用ベースを取り付けま す。



 CPU ファンケーブルが CPU ファンコネクタに接続され ていることをご確認ください。これでインストール完 了です。

ステップ3:メモリモジュールのインストール

メモリモジュールのインストールに先立ち、以下の注意事項に注意深くしていた。

- 注意 1. RAM_LED が点灯している時に DIMM をインストール・取外ししない でください。
 - DIMM モジュールはノッチにより一方向にしか差せないようになって る点にご注意ください。方向を間違えるとインストールに失敗しま す。差す方向を合わせてください。

マザーボードには 4 個のデュアルインラインメモリモジュール(DIMM)ソケット が装備されています。BIOS がメモリ形式および容量を自動的に検出します。メ モリモジュールをインストールするには、DIMM ソケットに真っ直ぐ押し込み ます。DIMM モジュールはノッチにより一方向にしか差せないようになってい ます。メモリ容量はソケットごとに異なっていても構いません。



GA-7VT880 シリーズマザーボード

- 12 -

デュアルチャンネル DDR:

GA-7VT880 Pro / GA-7VT880-L / GA-7VT880 はデュアルチャンネルテクノロジをサポートしま す。デュアルチャンネルテクノロジーが有効の場合は、メモリバスの帯域幅は本来の 2 倍の最高 6.4GB/s (DDR400)として動作します。

GA-7VT880 Pro / GA-7VT880-L / GA-7VT880 は 4 個 DIMM スロットを含んで、毎チャンネルには 以下の 2 個 DIMM を有します: ▶ チャンネル A: DDR 1, 2

▶ チャンネル B : DDR 3, 4

説明は下記のとおりです:

- デュアルチャンネルテクノロジーで操作したい場合は、以下の説明は VIA チップ セット仕様の制限対象になることにご注意ください。
 - DDR メモリモジュール 1 つのみがインストールされています:デュアルチャンネルテクノロジーは、1 つの DDR メモリモジュールしかインストールされていない場合はご使用になれません。
 - 2 個の DDR メモリモジュールがインストールされた場合:デュアルチャンネ ルテクノロジーは2つのメモリモジュールがチャンネルAとBに個別に挿入 された場合に作動し、また同一のメモリクロックとメモリサイズを使用する 必要があります。2 つのメモリを同じチャンネルにインストールしてある場 合、デュアルチャンネルテクノロジーは作動しません。

下表にはインストールされたメモリの組合せ形式が皆含まれています: (表にない組み合わせ方け起動しないので注意してください))

(表にない組み合わせ方は起動しないので注意してください。) ● 図1:デュアルチャンネルテクノロジー(DS:両面実装、SS:片面実装)

	DDR 1	DDR 2	DDR 3	DDR 4			
2 個のメモリモ	DS/SS	Х	DS/SS	Х			
ジュール	Х	DS/SS	Х	DS/SS			
4 個のメモリモ	DS/SS	DS/SS	DS/SS	DS/SS			
ジュール							

ステップ4:拡張カードのインストール

- 1. 拡張カードのインストールに先立ち、関連した指示説明をお読みください。
- 2. コンピュータからケースカバー、固定用ネジ、スロットブラケットを外します。
- 3. マザーボードの拡張スロットに拡張カードを確実に差します。
- 4. カードの金属接点面がスロットに確実に収まったことを確認してください。
- 5. スロットブラケットのネジを戻して、拡張カードを固定します。
- コンピュータのシャーシカバーを戻します。
- コンピュータの電源をオンにします。必要であれば BIOS セットアップから拡張カー ド対象の BIOS 設定を行います。
- 8. オペレーティングシステムから関連のドライバをインストールします。



AGP カードの装着/取り外し時には、AGP スロット端の小さい白色の取り外しバーを注意 深く引いてください。AGP カードをオンボード AGP スロットにそろえ、スロットに確実 に押し込んでください。ご使用になる AGP カードが小さな白いバーによってロックされ たことを確認してください。



ステップ5:リボンケーブル、リード線および電源 装置の接続

ステップ 5-1: 1/0 後部パネルの紹介



PS/2 キーボードおよび PS/2 マウスコネクタ



(6 ピンメス) PS/2 キーボードコネ クタ(6 ピンメス)

- ドおよび PS/2 マウスをサポートし ています。
- ◎ パラレルポート、シリアルポート(COMA/COMB)



当コネクタは2個の標準のCOMポー トおよび1個のパラレルポートをサ ポートしています。プリンタなど のデバイスはパラレルポートに接 続し、マウスやモデムなどはシリ アルポートに接続します。

GA-7VT880 シリーズマザーボード

日本語

○ / ◎ USB/LAN ①②コネクタ



- USBコネクタに USB キーボード、マ ウス、スキャナー、zip、スピーカ ーなどを接続する前に、ご使用に なるデバイスが標準の USB インタ フェースを装備していることをご 確認ください。またご使用の OS が USB コントローラをサポートしてい ることもご確認ください。ご使用 の OS が USB コントローラをサポー トしていない場合は、OS ベンダー に利用可能なパッチやドライバの 更新についてお問い合わせください。詳細はご使用の OS やデバイス のベンダーにお問い合わせください。
- オンボードオーディオドライバの インストール後、スピーカーはラ イン出力ジャックに、マイクはマ イク入力ジャックに接続できます。CD-ROM やウォークマンなどは ライン入力ジャックに接続できます。 下記にご注意ください:

S/W 切替により、2-/4-/6-/8-チャンネルオーディオ機能が使用可能です。

8 チャンネル機能を利用する際は 24 ページをご覧になり、オプション 装備の SUR_CEN ケーブルを最寄り の販売店よりお求めください。

2-/4-/6-チャンネルオーディオのインストール設定に関する詳細 は、57 ページをご参照ください。

① GA-7VT880 Pro 向けのみ。 ② GA-7VT88-L 向けのみ。

ライン出力

マイク入力

Ø オーディオコネクタ

O

O



ステップ 5-2 : コネクタはじめに



1) ATX_12V	13) F_AUDIO
2) ATX	14) SUR_CEN
3) CPU_FAN	15) SPDIF_IO
4) SYS_FAN	16) CD_IN
5) PWR_FAN(①)	17) AUX_IN
6) FDD	18) F_USB1 / F_USB2
7) IDE1 / IDE2	19) F1_1394 / F2_1394 (①)
8) SATA0 / SATA1	20) IR
9) F_PANEL	21) GAME
10) BAT	22) INFO_LINK
11) PWR_LED	23) CLR_CMOS
12) RAM_LED	24) CI

① GA-7VT880 Pro 向けのみ。

GA-7VT880 シリーズマザーボード



ATX_12V(+12V 電源コネクタ) 当コネクタ(ATX_12V)から CPU 動作電圧(Vcore)が供給されます。

この"ATX_12V コネクタ"が接続されていないと、システムは起動できません。



	ピン 番号	定義
	1	GND
	2	GND
	3	+12V
2 4	4	+12V

2) ATX (ATX 電源)

ATX 電源ケーブルおよびその他関連デバイスを確実にマザーボードに接続してからこそ、AC 電源コードを電源装置に接続できます。



-17- ハードウェ

ハードウェアのインストール手順



3) CPU_FAN (CPU ファンコネクタ)

CPU クーラーの適切なインストールは、CPU が異常動作をしたり過熱による損傷を受けたりするのを防止するのに大切である点にご注意ください。CPUファンコネクタの 最大許容電流は 600 mA です。

•••• 1



ピン 番号	定義
1	GND
2	+12V
3	Sense

4) SYS_FAN (システムファンコネクタ) 当コネクタにより、システムケース上部の冷却ファンでシステム温度を下げること ができます。





FAN(電源ファンコネクタ)(①)
 当コネクタにより、システムケース上部の冷却ファンでシステム温度を下げることができます。

:[



ピン 番号	定義
1	GND
2	+12V
3	Sense

6) FDD(フロッピーコネクタ)

フロッピードライブのリボンケーブルは FDD に接続してください。サポートされて いるフロッピーディスクのタイプは 360K, 1.2M, 720K, 1.44M および 2.88M バイトです。 リボンケーブルの赤い線の側を1番ピンに合わせます。



① GA-7VT880 Pro 向けのみ。

- 19 - ハードウェアのインストール手順



7) IDE1/IDE2 (IDE1/IDE2 コネクタ)

重要なご注意: まずハードディスクを IDE1 に、CD-ROM ドライブを IDE2 に接続してください。 リボンケーブルの赤い線の側を1番ピンに合わせます。





8) SATA0 / SATA1 (シリアル ATA コネクタ)

このコネクタにシリアル ATA デバイスが接続でき、最大データ転送速度は 150MB/sec に達します。RAID 機能を使いたい場合は、BIOS と一致し、正しいドライバをインス トールする必要があります。詳細は SATA RAID マニュアルをご参照ください。



GA-7VT880 シリーズマザーボード



9) F_PANEL (2 x 10 ピンコネクタ)

ご使用のケースのフロントパネルにある電源 LED, PC スピーカー、リセットスイッチ および電源スイッチなどを上記ピン配列にしたがって、F_PANEL に接続します。



HD (IDE ハードディスク動作表示	ピン1:LED 正極(+)
LED) (青)	ピン2:LED 負極(-)
SPK (スピーカーコネクタ) (アンバ	ピン1:VCC(+)
—)	ピン 2-ピン 3 : NC
	ピン4 : Data (-)
RES (リセットスイッチ) (緑)	オープン:通常動作時
	ショート:ハードウェアシス
	テムのリセット
PW (ソフトウェア電源コネクタ)	オープン:通常動作時
(赤)	ショート:電源オン/オフ
MSG (メッセージ LED/電源/スリー	ピン1:LED 正極(+)
プ LED) (黄色)	ピン2:LED 負極(-)
NC(紫)	NC



10) バッテリー





注意

- ◆ バッテリーの交換を間違えると爆発の危険があります。
- ◆ メーカー推奨と同一のタイプの物と交換 してください。
- ◆ 使用済みバッテリーはメーカーの指示に 従って廃棄してください。

CMOS 内容を消去するには…

- 1. コンピュータをオフにし、電源コードの プラグを外します。
- 2. バッテリーを外して、30秒放置します。
- 3. バッテリーを入れなおします。
- 電源コードのプラグを差し、コンピュー タをオンにします。

11) PWR_LED

PWR_LED はシステム電源表示ランプに接続してシステムのオン/オフを表示します。 システムがサスペンドモードになると点滅します。2 色 LED をご使用の場合は、電源 LED は別の色に点灯します。



8	ピン 番号	定義
1 🖸	1	MPD+
	2	MPD-
	3	MPD-

12) RAM_LED

RAM_LED がオンの場合に、メモリ モジュールを取り去らないでください。スタンド バイ電圧によりショートや予期せぬ破損を招く恐れがあります。AC 電源コードが接 続されていない場合のみ、メモリモジュールを取り外してください。



- ____ +



13) F_AUDIO(フロントオーディオコネクタ)

フロントオーディオコネクタを使用する場合は、5-6, 9-10 番ジャンパーを外す必要があります。

フロントオーディオヘッダーを利用するには、お持ちのシャーシにフロントオーデ ィオコネクタが装備されている必要があります。また、ケーブルのピン配列がマザ ーボードヘッダーのピン配列と同じであることをご確認ください。お買い求めのシ ャーシがフロントオーディオコネクタを装備しているかどうかは、お買い上げ店に お確かめください。サウンド再生にはフロントオーディオコネクタとリアオーディ オコネクタが同様に使用可能です。



- 23 -

ハードウェアのインストール手順



14) SUR_CEN (サラウンドセンターコネクタ) オプション装備の SUR_CEN ケーブルは最寄の販売店にお問い合わせ下さい。



ピン 番号	定義
1	SUR OUTL
2	SUR OUTR
3	GND
4	ピンなし
5	CENTER_OUT
6	BASS_OUT

15) SPDIF_IO(SPDIF 入/出力コネクタ)

SPDIF 出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、AC3 圧縮データを外部ドルビ ーデジタルデコーダーに出力できます。この機能はお持ちのステレオ装置がデジタ ル入力機能を装備している場合のみ使用可能です。SPDIF_IOコネクタの極性にご注意 ください。SPDIF_IOケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネ クタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション 装備の SPDIF_IO ケーブルのお求めにはトルの販売店にお問い合わせください。



	ピン 番号	定義
	1	VCC
	2	ピンなし
	3	SPDIF_O
	4	SPDIFI
	5	GND
	6	GND

GA-7VT880 シリーズマザーボード



16) CD_IN (CD 入力コネクタ)

CD-ROM または DVD-ROM のオーディオ出力はこのコネクタに接続します。



				Г
	1			
Γ		٦		
	•	ì		ľ
7	÷	1		
L				

ピン

番号

1

2

3

4

定義

CD-L

GND

GND CD-R

17) AUX_IN (AUX 入力コネクタ) 他のデバイス(例えば PCI TV チューナーの音声出力)をコネクタに接続してください。



1	ピン	定義
	番号	
┍╝┇╢	1	AUX-L
	2	GND
5-1	3	GND
	4	AUX-R

- 25 -ハードウェアのインストール手順



18) F_USB1 / F_USB2(フロント USB コネクタ、黄色) フロント USB コネクタの極性にご注意ください。フロント USB ケーブルの接続にはピ ン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作 不能やな障の原因となります。オプション装備のフロント USB ケーブルのお求めに は地元の販売店にお問い合わせください。





19) F1_1394 / F2_1394 (フロント IEEE1394 コネクタ)(①)

電気電子学会で制定されたシリアルインタフェース規格で、高速転送、広帯域、およびホットプラグを特徴としています。IEEE1394 コネクタの極性にご注意ください。 IEEE1394 ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での 誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備の IEEE1394 ケーブルのお求めにはトルの販売店にお問い合わせください。



20) IR

IRデバイスの1番ピンとコネクタの1番ピン側が合っているかご確認ください。オンボードの IR 機能を使用するには、オプション装備の IR モジュールの購入が必要です。IR コネクタの極性にご注意ください。オプション装備の IR ケーブルのお求めには地元の販売店にお問い合わせください。



1 • • • • 5



21) GAME (ゲームコネクタ)

このコネクタはジョイスティック、MIDIキーボードおよびその他関連オーディオデバ イスをサポートしています。ゲームケーブルを接続の際は、ピン配列にご注意くだ さい。オプション装備のゲームケーブルは最寄の販売店にお問い合わせ下さい。



- 27 - ハードウェアのインストール手順





22) INFO_LINK

, このコネクタにより、外部デバイスを接続して拡張機能を付加できます。外部デバ イスのケーブルを接続の際は、ピン配列にご注意ください。オプション装備の外部 デバイスケーブルについては最寄の販売店にお問い合わせください。



23) CLR_CMOS

このジャンパーにより、CMOS データをクリアしてデフォルト値に復元できます。 デフォルトではジャンパーの不適切な使用を防ぐ"シャンター(shunter)"はありません。 CMOS のクリアには一時的に 1-2 番ピンをショートさせます。



1日 オープン:通常

1 🗄 1-2 ショート : CMOS クリア



24) Cl (ケース開放) この2ピンコネクタは BIOS の"Case Open"項目の有効または無効にでき、本体ケースが 開けられたことの検出に使用されます。



0	ピン 番号	定義
H 1	1	信号
	2	GND

- 29 -ハードウェアのインストール手順



GA-7VT880 シリーズマザーボード - 30 -

第3章 BIOSのセットアップ

BIOS のセットアップでは BIOS セットアッププログラムの概要を説明します。 プログラムにより、ユーザーは基本システム設定を変更できます。このタイプ のデータはバッテリーバック(battery-backed)付き CMOS RAM に保存されるので、 電源をオフにしてもセットアップデータは保たれます。

セットアップの起動

コンピュータをオンにし、すぐにを押すと、セットアップが起動されま す。BIOSの詳細設定が必要な場合は、"Advanced BIOS"設定メニューに移ってく ださい。Advanced BIOS 設定メニューは BIOS 画面で"Ctrl+F1"キー操作で表示され ます。

制御用キー

< ↑ >	前の項目に戻る
<↓>	次の項目に進む
<←>	左側の項目に移る
<→>	右側の項目に移る
<enter></enter>	項目の選択
<esc></esc>	メインメニュー - CMOS Status Page Setup Menu と Option Page Setup
	Menu を変更せずに終了-現在のページを終了し、メインメニューに
	戻る
<+/PgUp>	数値を増加または変更
<-/PgDn>	数値を減少または変更
<f1></f1>	一般のヘルプ、Status Page Setup Menu および Option Page Setup Menu の
	みを対象
<f2></f2>	項目のヘルプ
<f3></f3>	予備
<f4></f4>	予備
<f5></f5>	CMOS を前の CMOS 設定に戻す、Option Page Setup Menu のみを対象
<f6></f6>	BIOS デフォルトテーブルから安全なデフォルト CMOS 設定値をロー
	۴
<f7></f7>	最適デフォルト値をロード
<f8></f8>	デュアル BIOS/Q-Flash ユーティリティ
<f9></f9>	システム情報
<f10></f10>	CMOS 変更を全て保存、メインメニューのみを対象

BIOS のセットアップ

日本語

メインメニュー

ハイライト表示された設定機能のオンライン説明がスクリーン下部に表示され ます。

status page setup メニュー / Option Page Setup メニュー

F1 を押すとハイライト表示された項目に使用可能なキーおよび可能な選択内容 が小さなウィンドウに表示されます。ヘルプウィンドウを閉じるには<Esc>を 押します。

メインメニュー(例: BIOS Ver. : E9)

Award BIOS CMOS セットアップユーティリティを起動すると、画面にメインメニュー(下図に参照)が表示されます。メインメニューから設定機能8項目および2種類が選ばれます。矢印キーで項目を選び<Enter>を押して決定、またはサブメニューに進みます。

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software		
•	Standard CMOS Features	Load Fail-Safe Defaults
▶	Advanced BIOS Features	Load Optimized Defaults
▶	Integrated Peripherals	Set Supervisor Password
▶	Power Management Setup	Set User Password
▶	PnP/PCI Configurations	Save & Exit Setup
▶	PC Health Status	Exit Without Saving
	MB Intelligent Tweaker(M.I.T)	
ESC: Quit		↑↓→←: Select Item
F8: Dual BIOS/Q-Flash		F10: Save & Exit Setup
Time, Date, Hard Disk Type		

- Standard CMOS Features
 この設定ページには標準互換 BIOS 内の項目全部が含まれています。
- Advanced BIOS Features
 この設定ページには Award 専用拡張機能の項目全部が含まれています。
- Integrated Peripherals この設定ページにはオンボードペリフェラル項目が全て含まれています。
- Power Management Setup
 この設定ページには節電機能関連項目が全て含まれています。
- PnP/PCI Configurations

この設定ページには PCI およびプラグアンドプレイ ISA リソースの設定項目が全て含まれています。

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 32 -


• PC Health Status

この設定ページは、システムにより自動検出された温度、電圧、ファン速度が表示 されます。

- MB Intelligent Tweaker (M.I.T) この設定ページは CPU クロックおよびクロックレシオを調節するものです。
- Load Fail-Safe Defaults
 Fail-Safe Defaults はシステムが安定動作する設定値を表示します。
- Load Optimized Defaults
 Optimized Defaults はシステムが最良の性能で動作する設定値を表示します。
- Set Supervisor Password パスワードの変更、設定、無効化を行います。これでシステムおよびセットアッ プ、またはセットアップのみへのアクセスを制限します。
- Set User Password パスワードの変更、設定、無効化を行います。これでシステムへのアクセスを制限 します。
- Save & Exit Setup CMOS 設定値を CMOS に保存し、セットアップを終了します。
- Exit Without Saving CMOS 設定値を全てキャンセルし、セットアップを終了します。

- 33 -

Standard CMOS Features

	CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software Standard CMOS Features		
	Date (mm:dd:yy)	Tue, Jan 27 2004	Item Help
	Time (hh:mm:ss)	22:31:24	Menu Level▶
			Change the day, month,
	IDE Primary Master	[None]	year
	IDE Primary Slave	[None]	
	 IDE Secondary Master 	[None]	<week></week>
	IDE Secondary Slave	[None]	Sun. to Sat.
	Drive A	[1.44M, 3.5"]	<month></month>
	Drive B	[None]	Jan. to Dec.
	Floppy 3 Mode Suport	[Disabled]	
			<day></day>
	Holt On	[All, But Keyboard]	1 to 31 (or maximum
			allowed in the month)
	Base Memory	640K	
	Extended Memory		< Year>
	Total Memory	128M	1999 to 2098
	↑↓→←: Move Enter: Select	+/-/PU/PD: Value F10: Save E	SC: Exit F1: General Help
	F5: Previous Values	F6: Fail-Save Default F7: Optimized De	faults
Ľ			

🗢 Date

日付のフォーマットは<曜日>、<月>、<日>、<年>です。

- ▶ Week 日曜から土曜までの曜日は BIOS で設定され、表示用のみです
- ▶ Month 月は1月から12月までです。
- ▶ Day 日は1から31(またはその月に存在する日数)までです
- ▶ Year 年は 1999 から 2098 までです
- 🗢 Time

時刻のフォーマットは<時> <分> <秒>です。時刻は 24 時間制です。例えば午後 1 時は 13:00:00 となります。

☞ IDE Primary Master, Slave / IDE Secondary Master, Slave

この項目はコンピュータにインストールされたドライブCからFまでのハードディス クのタイプを検出します。タイプはオートとマニュアルの2種類があります。マニュア ルタイプはユーザー定義可能です。オートタイプはHDDのタイプを自動検出します。 ご使用のドライブの仕様はドライブテーブルと一致している必要があります。この項目 で不正確なデータを入力すると、ハードディスクは正常に動作しません。 ユーザータイプを選択すると、以下の項目の入力を求められます。必要なデータをキー ボード入力し、<Enter>を押します。これらの情報はご使用のハードディスクベンダーま たはシステムメーカーからの説明書に載せられています。

- ▶ Cylinder シリンダ数
- ➡ Head ヘッド数
- ▶ Precomp ライト・プリコンペンセーション
- ► Landing Zone ランディングゾーン
- ➡ Sector セクタ数

ハードディスクがインストールされていない場合はNONEを選び、<Enter>を押します。



🗢 Drive A / Drive B

この項目はコンピュータにインストールされたフロッピードライブ Aまたはドライブ Bのタイプを設定します。

- ▶ None フロッピードライブはインストールされていません
- ▶ 360K, 5.25" 5.25 インチ PC 内蔵標準ドライブ;容量は 360K バイト
 ▶ 1.2M, 5.25" 5.25 インチ AT タイプ高密度ドライブ;容量は 1.2M バイト
- (3 モードが有効の場合は 3.5 インチ)
- ▶ 720K, 3.5" 3.5 インチ両面ドライブ;容量は 720K バイト
- ▶ 1.44M, 3.5" 3.5 インチ両面ドライブ;容量は 1.44M バイト
- ▶ 2.88M, 3.5" 3.5 インチ両面ドライブ;容量は 2.88M バイト。

☞ Floppy 3 Mode Support (for Japan Area)

- ▶ Disabled 通常のフロッピードライブ。(デフォルト値)
- ▶ Drive A ドライブ A は 3 モードフロッピードライブです。
- ▶ Drive B ドライブ B は 3 モードフロッピードライブです。
- ▶ Both ドライブ A および B は 3 モードフロッピードライブです。

Halt on

この項目で電源投入時にエラー検出があった場合に、コンピュータを停止するかどうかを決定します。

- ▶ No Errors システム起動時にエラー検出があって表示されても、続行します。
- ▶ All Errors BIOS が重大ではないエラーを検出しても、システムは停止します。
- ▶ All, But Keyboard システム起動はキーボードエラーでは続行しますが、それ以外の エラーでは停止します。(デフォルト値)
- ▶ All, But Diskette システム起動はディスクエラーでは続行しますが、それ以外のエ ラーでは停止します。
- ▶ All, But Disk/Key システム起動はキーボードエラーまたはディスクエラーでは続行 しますが、それ以外のエラーでは停止します。

🗢 Memory

この項目は表示のみで、BIOS の POST (電源起動時セルフテスト)によって判断されます。

Base Memory

BIOSのPOSTはシステムにインストールされているベース(コンベンショナル)メモリ容量を検出します。

ベースメモリ容量は通常 512 K 搭載のマザーボードではシステム用に 512 K で、 640 K 以上搭載のマザーボードではシステム用に 640 K となります。 ▶ Extended Memory

BIOS は POST 中に拡張メモリ容量を検出します。

これは CPU メモリアドレスマップ上で 1M バイト以上に位置する容量です。

BIOS のセットアップ

Advanced BIOS Features

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software Advanced BIOS Features		
First Boot Device Second Boot Device Third Boot Device Password Check	[Floppy] [HDD-0] [CDROM] [Setup]	Item Help Menu Level> Select Boot Device priority [Floppy] Boot from floppy [LS120] Boot from LS120 [HDD-0] Boot from First HDD [HDD-1] Boot from Second HDD
↑↓→←: Move Enter: Select F5: Previous Values	+/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: 1 F6: Fail-Save Default F7: Optimized Default	Exit F1: General Help s

☞ First / Second / Third Boot Device

- ▶ Floppy 起動用デバイスの優先順位でフロッピーを指定します。
- ▶ LS120 起動用デバイスの優先順位でLS120を指定します。
- ▶ HDD-0~3 起動用デバイスの優先順位で HDD-0~3 を指定します。
- ▶ SCSI 起動用デバイスの優先順位で SCSI を指定します。
- ▶ CDROM 起動用デバイスの優先順位で CDROM を指定します。
- ▶ ZIP 起動用デバイスの優先順位で ZIP を指定します。
- ▶ USB-FDD 起動用デバイスの優先順位で USB-FDD を指定します。
- ▶ USB-ZIP 起動用デバイスの優先順位で USB-ZIP を指定します。
- ▶ USB-CDROM 起動用デバイスの優先順位で USB-CDROM を指定します。
- ▶ USB-HDD 起動用デバイスの優先順位で USB-HDD を指定します。
- ▶ LAN 起動用デバイスの優先順位でLANを指定します。
- ▶ Disabled 起動用デバイスの優先順位で無効を指定します。

Password Check

- System プロンプト時に正しいパスワードが入力されない場合は、システムは起動せず、セットアップ画面も表示できません。
- ▶ Setup プロンプト時に正しいパスワードが入力されない場合は、システムは起動しますが、セットアップ画面は表示できません。 (デフォルト値)

Integrated Peripherals

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software Integrated Peripherals			
OnChip IDE Channel 0	[Enabled]		Item Help
OnChip IDE Channel 1	[Enabled]		Menu Level▶
OnChip Serial ATA	[Enabled]		
AC97 Audio	[Auto]		
USB 1.1 Controller	[Enabled]		
USB 2.0 Controller	[Enabled]		
USB Keyboard Support	[Disabled]		
USB Mouse Support	[Disabled]		
Onboard H/W LAN(@@)	[Enabled]		
Onboard H/W 1394(①)	[Enabled]		
Onboard LAN Boot ROM(@@)	[Disabled]	- TI	
Onboard Serial Port 1	[3F8/IRQ4]		
Onboard Serial Port 2	[2F8/IRQ3]		
UART Mode Select	[Normal]		
x UR2 Duplex Mode			
Onboard Parallel Port	[378/IRQ7]		
Parallel Port Mode	[SPP]		
Game Port Address	[201]		
Midi Port Address	[Disabled]		
$\uparrow \downarrow \rightarrow \leftarrow$: Move Enter: Select	+/-/PU/PD: Value F10: Save	ESC:	Exit F1: General Help
F5: Previous Values	F6: Fail-Save Default F7: Optimized	Default	s



OnChip IDE Channel0 \mathbf{r}

オンボードのプライマリチャンネル IDE のポートを有効にしま す。(デフォルト値) オンボードのプライマリチャンネル IDE のポートを無効にします。 Enabled

Disabled OnChip IDE Channel1

- オンボードのセカンダリチャンネル IDE のポートを有効にしま す。(デフォルト値) オンボードのセカンダリチャンネル IDE のポートを無効にします。 ▶ Enabled
- Disabled
- œ **OnChip Serial ATA**

œ

- 、 VT8237 のシリアル ATA サポートを有効にします。(デフォルト値) VT8237 のシリアル ATA サポートを無効にします 。 Enabled
- Disabled

① GA-7VT880 Pro 向けのみ。 ② GA-7VT88-L 向けのみ。

日本語

日本語

¢	AC	97 Audio	
	•	Auto	オンボードの AC'97 オーディオ機能を有効にします。(デフォルト値)
	••	Disabled	この機能を無効にします。
¢	US	B 1.1 Controller	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	USE	3 デバイスを使り	用しない場合、USB 1.1 ホストコントローラを無効にします。
))))	Enabled Disabled	USB 1.1 コントローフを有効にします。(アフォルト値) USB 1.1 コントローラを無効にします。
¢	US	B 2.0 Controller	
	局加	鬼 USB テハイス	を使用しない場合、USB 2.0 ホストコントローフを無効にします。
	>>	Disabled	USB 2.0 コントローラを無効にします。() フォルト値) USB 2.0 コントローラを無効にします。
÷	us	B Keyboard Su	
	•	Enabled	USB キーボードサポートを有効にします。
	•	Disabled	USB キーボードサポートを無効にします。(デフォルト値)
Ċ	US	B Mouse Suppo	rt
	•	Enabled	USB マウスサポートを有効にします。
	•	Disabled	USB マウスサポートを無効にします。(デフォルト値)
¢	On	board H/W LAN	
	>	Enabled	オンボード LAN 機能を有効にします。(デフォルト値)
~	0	Disabled	オンハート LAN 俄能を無効にします。 (の)
v	•••	Enabled	(♥) FFF130/ 機能を右効に」ます (デフォルト値)
	•	Disabled	IEEE1394 機能を無効にします。
÷	On	board LAN Boo	t ROM(@@)
	ت ت	の機能で、オンス	ボード LAN チップのブート ROM を起動するかどうか設定します。
	₩	Enabled	この機能を有効にします。
	••	Disabled	この機能を無効にします。(デフォルト値)
¢	On	board Serial Po	rt 1
	Auto	oBIOS は自動的	に1番ボートアドレスを設定します。
	••	3F8/IRQ4	オフハートンリアルハート 歯を有効にし、アトレスを 3F8に設定 ます (デフォルト値)
	₩	2F8/IRQ3	オンボードシリアルポート1番を有効にし、アドレスを2F8に設定
			します。
	••	3E8/IRQ4	オンボードシリアルポート 1 番を有効にし、アドレスを 3E8 に設
		250/1002	「定します。 オンギードシリマリポート 1 来たちぬに」 - マドレフた 250 に弛
		ZEO/IRQ3	オンハートンリアルハート 一番を有効にし、アトレスを 200 に設定します。
	₩	Disabled	オンボードシリアルポート1番を無効にします。
œ	On	board Serial Po	rt 2
	Auto	oBIOS は自動的	に2番ポートアドレスを設定します 。
	••	3F8/IRQ4	オンボードシリアルポート2番を有効にし、アドレスを3F8に設定 + ます
	₩	2F8/IRQ3	しなう。 オンボードシリアルポート2番を有効にし、アドレスを2F8に設定
			します。(デフォルト値)
	••	3E8/IRQ4	オンボードシリアルポート 2 番を有効にし、アドレスを 3E8 に設
		050/10.00	
	••	2E8/IRQ3	オンホートンリアルホート 2 奋を有効にし、アトレスを 2E8 に設 ローナナ
	bb	Disabled	走しより 。 オンボードシリアルポート 9 番を無効にします
	**	DISADIEU	オンハードンラブル小一ド2番で無効にします。
1	GA-7'	VT880 Pro 向けの)み。 ② GA-7VT88-L 向けのみ。

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 38 -



☞ UART Mode Select

- この項目でオンボード I/O チップの赤外線(IR)機能の設定を行います。
- ▶ Normal オンボード I/O チップを標準シリアルポート使用として設定します。(デフォルト値)
- ▶ IrDA オンボード I/O チップ UART を IrDA モードに設定します。
- ▶ ASKIR オンボード I/O チップ UART を ASKIR モードに設定します。
- ☞ UR2 Duplex Mode
 - この機能は"UARTモード選択"がノーマル以外のときに有効です。
 - ➡ Half IR 機能半二重通信。(デフォルト値)
 - ▶ Full IR 機能全二重通信。
- Onboard Parallel Port
 - ▶ 378/IRQ7 オンボード LPT ポートを有効にし、アドレスを 378/IRQ7 に設定します。(デフォルト値)
 - ▶ 278/IRQ5 オンボード LPT ポートを有効にし、アドレスを 278/IRQ5 に設定します。
 - ▶ Disabled オンボード LPT ポートを無効にします。
 - ▶ 3BC/IRQ7 オンボード LPT ポートを有効にし、アドレスを 3BC/IRQ7 に設定します。

Parallel Port Mode

- ▶ SPP パラレルポートを標準パラレルポートとして使用します。 (デフォルト値)
- ▶ EPP パラレルポートを拡張パラレルポートとして使用します。
- ▶ ECP パラレルポートを拡張機能ポートとして使用します。
- ▶ ECP+EPP パラレルポートを ECP および EPP モードで使用します。

☞ Game Port Address

- ▶ 201 ゲームポートアドレスを 201 に設定します。(デフォルト値)
- ▶ 209 ゲームポートアドレスを 209 に設定します。
- ▶ Disabled この機能を無効にします。
- ∽ Midi Port Address
 - ▶ 300 MIDIポートアドレスを 300 に設定します。
 - ▶ 330 MIDI ポートアドレスを 330 に設定します。
 - ▶ Disabled この機能を無効にします。(デフォルト値)
- 🗢 Midi Port IRQ
 - ▶ 5 MIDIポートの IRQ を 5 に設定します。(デフォルト値)
 - ▶ 10 MIDIポートの IRQ を 10 に設定します。

Power Management Setup

Power Management Setup ACPI Suspend Type [S1(POS)] Item Help x USB Device Wake-Up From S3 Disabled Menu Level> Power LED in S1 state [Blinking] Soft-Off by PWRBTN [Instant-Off] [S1] AC Back Function [Soft-Off] Set suspend type to Keyboard Power On [Disabled] Power On Suspend under Mouse Power On [Disabled] ACPI OS PME Event Wake Up [Enabled] [S3] Resume by Alarm [Disabled] Set suspend type to x Date (of Month) Alarm Everyday Suspend to RAM under x Time (hh:mm:ss) Alarm 0 : 0 : 0 ACPI OS ^t → ←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults Defaults	CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software		
A CP1 Suspend Type $[S1(POS)]$ Item Helpx USB Device Wake-Up From S3DisabledMenu Level>Power LED in S1 state $[Blinking]$ Soft-Off by PWRBTN[Instant-Off]AC Back Function $[Soft-Off]$ Set suspend type toKeyboard Power On[Disabled]Power On Suspend underMouse Power On[Disabled]ACPI OSPME Event Wake Up[Enabled][S3]Resume by Alarm[Disabled]Set suspend type tox Date (of Month) AlarmEvertydaySuspend to RAM underx Time (hh:mm:ss) Alarm0 : 0 : 0ACPI OS $\uparrow \downarrow \rightarrow \leftarrow$: MoveEnter: Select $+/-/PU/PD$: ValueF10: SaveESC: ExitF5: Previous ValuesF6: Fail-Save DefaultF7: Optimized Defaults		Power Management Setup	
x USB Device Wake-Up From S3 Disabled Menu Level▶ Power LED in S1 state [Blinking] [Soft-Off] [S1] AC Back Function [Soft-Off] Set suspend type to Keyboard Power On [Disabled] Power On Suspend under Mouse Power On [Disabled] Power On Suspend under Mouse Power On [Disabled] ACPI OS PME Event Wake Up [Enabled] [S3] Resume by Alarm [Disabled] Set suspend type to x Date (of Month) Alarm Everyday Suspend to RAM under x Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPI OS *// → ←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults F1: General Help	ACPI Suspend Type	[S1(POS)]	Item Help
Power LED in S1 state [Blinking] Soft-Off by PWRBTN [Instant-Off] AC Back Function [Soft-Off] Keyboard Power On [Disabled] Mouse Power On [Disabled] PME Event Wake Up [Enabled] ModemRingOn/WakeOnLan [Enabled] Resume by Alarm [Disabled] X Date (of Month) Alarm Everyday X Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPI OS ACPI OS			Menu Level▶
Soft-Off by PWRBTN [Instant-Off] [S1] AC Back Function [Soft-Off] Set suspend type to Keyboard Power On [Disabled] Power On Suspend under Mouse Power On [Disabled] ACPI OS PME Event Wake Up [Enabled] [S3] Resume by Alarm [Disabled] Set suspend type to x Date (of Month) Alarm Everyday Suspend to RAM under x Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPI OS */+/>F5: Previous Values +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults	Power LED in S1 state	[Blinking]	
AC Back Function [Soft-Off] Set suspend type to Keyboard Power On [Disabled] Power On Suspend under Mouse Power On [Disabled] Power On Suspend under ModemRingOn/WakeOnLan [Enabled] [S3] Resume by Alarm [Disabled] [S3] x Date (of Month) Alarm Everyday Suspend to RAM under x Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPI OS */→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults F1: General Help	Soft-Off by PWRBTN	[Instant-Off]	[S1]
Keyboard Power On [Disabled] Power On Suspend under Mouse Power On [Disabled] ACPI OS PME Event Wake Up [Enabled] [S3] Resume by Alarm [Disabled] Set suspend type to x Date (of Month) Alarm Everyday Suspend to RAM under x Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPI OS */→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults F1: General Help	AC Back Function	[Soft-Off]	Set suspend type to
Mouse Power On [Disabled] ACPI OS PME Event Wake Up [Enabled] [S3] Resume by Alarm [Disabled] Set suspend type to x Date (of Month) Alarm Everyday Suspend to RAM under x Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPI OS ^t→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults F1: General Help	Keyboard Power On	[Disabled]	Power On Suspend under
PME Event Wake Up [Enabled] ModemRingOn/WakeOnLan [Enabled] Resume by Alarm [Disabled] x Date (of Month) Alarm Everyday x Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPI OS	Mouse Power On	[Disabled]	ACPI OS
ModemRingOn/WakeOnLan [Enabled] [53] Resume by Alarm [Disabled] Set suspend type to x Date (of Month) Alarm Everyday Suspend to RAM under x Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPI OS */→ ←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults F1: General Help	PME Event Wake Up	[Enabled]	
Resume by Alarm [Disabled] Set suspend type to x Date (of Month) Alarm Everyday Suspend to RAM under x Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 0 dt → ←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F5: Previous Values F6: Fail-Save Default	ModemRingOn/WakeOnLan	[Enabled]	[\$3]
x Date (of Month) Alarm Everyday Suspend to KAM under x Time (hh:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPI OS ACPI OS File File File ↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults F1: General Help	Resume by Alarm		Set suspend type to
x 1 ime (nn:mm:ss) Alarm 0:0:0 ACPLOS ↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults F7: Optimized Defaults	x Date (of Month) Alarm	Everyday	Suspend to RAM under
↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults	x Time (nn:mm:ss) Alarm		ACPIOS
↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults			
↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults			
↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults			
↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults			
↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults			
↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults			
↑↓→←: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults			
F5: Previous Values F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaults	$\uparrow \downarrow \rightarrow \leftarrow$: Move Enter: Select	+/-/PU/PD: Value F10: Save ESC:	Exit F1: General Help
	F5: Previous Values	F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaul	ts

- ACPI Suspend Type
 - ACPI サスペンドの種類を S1/POS (Power On Suspend)に設定します。 ▶ S1 (POS) (デフォルト値)
 - ▶ S3 (STR) ACPI サスペンドの種類を S3/STR (Suspend To RAM)に設定します。
- USB Device Wake-Up From S3
 - Disabled
 - この機能を無効にします。(デフォルト値) USB デバイスによる S3 サスペンドタイプからのシステムウェイク ➡ Enable アップを有効にします。
- Power LED in S1 state
 - スタンドバイモード(S1)では、電源 LED が点滅します。 ➡ Blinking
 - (デフォルト値) ▶ Dual/Off
 - スタンドバイモ ード(S1)では:
 - a. 単一色の LED を使用している場合は、LED がオフになります。
 - b.2 色の LED を使用している場合は、LED が別の色に変わります。
- ∽ Soft-Off by PWRBTN
 - Instant-off
 - ・・・ 電源ボタンを押すと、すぐ電源をオフにします。(デフォルト値) 電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、電源オフになります。ボタ ン押す時間が 4 秒間未満の場合、サスペンドモードに入ります。 Delay 4 Sec.
- ∽ AC Back Function
 - ➡ Soft-Off AC 復帰の時は常にオフにします。(デフォルト値)
 - 電源のオン/オフは AC 停電直前の状態に依存します。 Memory
 - AC 復帰の時は常にオンにします。 Full-On
- ☞ Keyboard Power On
 - Disabled
 - この機能を無効にします。(デフォルト値) キーボード電源オン機能のパスワードを 1-5 文字で入力してくだ Password さい。
 - お使いのキーボードに"POWER"ボタンがある場合、そのキーを押 すことによりシステムの起動が可能です。
- 🗢 Mouse Power On
 - この機能を無効にします。(デフォルト値) マウスイベントでシステム電源を入れる。 Disabled Enabled

- 40 -GA-7VT880 シリーズマザーボード



- C PME Event Wake Up Circled この機能を無効にします。 PMEをウェイクアップイベントとして使用可能にします。 Enabled (デフォルト値)
- Modem Ring On/Wake On LAN (When AC Back Function set to [Soft-Off]) モデム経由の着信はシステムをソフトオフ(soft-off)モードから再開できます。有効に 設定されていると、その他のクライアントからの入力シグナルがあります。 LAN に接続されている場合、LAN 上のサーバーがシステムをソフトオフ状態から再開 させます。
 - Disabled

Modem Ring On / Wake On LAN 機能を無効にします。 Modem Ring On / Wake On LAN 機能を有効にします。(デフォルト値) Enabled Resume by Alarm Ċ

"Resume by Alarm"項目の設定で、入力した日付/時刻にシステム電源がオンになりま す。

- Disabled
- この機能を無効にします。(デフォルト値) アラーム機能を有効にすることで、電源オンにします。 Enabled RTC アラームによる電源オンが有効の場合。
 - アラーム日付(月): 毎日、1-31
 - アラーム時刻(hh:mm:ss): (0~23) : (0~59) : (0~59)

PnP/PCI Configurations

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software PnP/PCI Configurations			
PCI 1/5 IRQ Assignment PCI 2 IRQ Assignment PCI 3 IRQ Assignment PCI 4 IRQ Assignment	[Auto] [Auto] [Auto] [Auto]		Item Help Menu Level D Device(s) using this INT: • Bus 1 Dev18 Fune 0 Display Cntrlr • Bus 1 Dev 0 Fune 0 IEEE 1394 Host Cntrlr • Bus 0 Dev20 Fune 0 USB 1.1 Host Cntrlr • Bus 0 Dev16 Fune 1 USB 1.1 Host Cntrlr • Bus 0 Dev16 Fune 1
↑↓→←: Move Enter: Select F5: Previous Values	+/-/PU/PD: Value F6: Fail-Save Default	F10: Save ESC: F7: Optimized Default	Exit F1: General Help s
 ✓ PCI 1/5 IRQ Assignment → Auto → 3,4,5,7,9,10,11,12,14,15 ✓ PCI 2 IRQ Assignment 	PCI 1/5 へ IRQ を自 PCI 1/5 に IRQ 3, 4, 5	動的に割当てます 5,7,9,10,11,12,14	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

	Auto	
••	3,4,5,7,9,10,11,12,14,15	PCI 1/5 に IRQ 3, 4, 5, 7, 9, 10, 11, 12, 14, 15 を割当てます
PC	2 IRQ Assignment	
••	Auto	PCI2へ IRQ を自動的に割当てます。(デフォルト値)
••	3,4,5,7,9,10,11,12,14,15	PCI2にIRQ3,4,5,7,9,10,11,12,14,15を割当てます。
PC	3 IRQ Assignment	
••	Auto	PCI3へ IRQ を自動的に割当てます。(デフォルト値)
••	3,4,5,7,9,10,11,12,14,15	PCI3にIRQ3,4,5,7,9,10,11,12,14,15を割当てます。

- ☞ PCI 4 IRQ Assignment
 - ₩ Auto

5

- ₩
- PCI4へ IRQ を自動的に割当てます。(デフォルト値) 3,4,5,7,9,10,11,12,14,15 PCI4にIRQ3,4,5,7,9,10,11,12,14,15を割当てます。

BIOS のセットアップ

PC Health Status

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software PC Health Status			
Vcore	OK	Item Help	
DDR2.5V		Menu Level▶	
+12V	OK	[Disabled]	
Current CPU Temperature	37°C	Don't monitor	
Current CPU FAN Speed	4687 RPM	current fan speed	
Current SYSTEM FAN Speed	0 KPM		
CPU FAN Fail Warning		[Enabled]	
SYSTEM FAN Fail warning	[Disabled]	Alarm when FAN stops	
↑↓→←: Move Enter: Select F5: Previous Values	+/-/PU/PD: Value F10: Save E3 F6: Fail-Save Default F7: Optimized Def	SC: Exit F1: General Help aults	
F5: Previous Values	+/-/PU/PD: Value F10: Save E3 F6: Fail-Save Default F7: Optimized Def	aults	

- ✓ Current CPU Temperature
 - ▶ CPU 温度を自動検出します。
- ✓ Current CPU/SYSTEM FAN Speed (RPM)
 - ▶ CPU/SYSTEM ファン速度状態を自動検出します。
- ∽ CPU FAN Fail Warning
 - ▶ Disabled ファン警告機能を無効にします。(デフォルト値)
 - ▶ Enabled ファン警告機能を有効にします。
- ☞ SYSTEM FAN Fail Warning
 - Disabled ファン警告機能を無効にします。(デフォルト値)
 - ▶ Enabled ファン警告機能を有効にします。



MB Intelligent Tweaker (M.I.T)

CMOS S

MB Intelligent Tweaker (M.I.T)			
	DRAM Timing	[Auto By SPD]	Item Help
$\ $		2.5	Menu Level
	x Bank Interleave x Precharge to Active (Trp)	4 Bank 3T	
	x Active to Precharge (Tras)		
		fc) 12T	
	x ACT(0) to ACT(1) (Trrd) CPU Patia Control	2T [Normal]	
	Spread Spectrum Modulated	[Normar] [Enabled]	
	CPU Host Clock Control	[Disabled]	
	x CPU Host Frequency (MHz)		
	PCI / AGP Frequency (MHz) 33/66 [D1: CDD]	
	CPU Voltage Control	[by SrD] [Normal]	
	Normal CPU Vcore		
	AGP Voltage Control	[Auto]	
	DDR Voltage Control	[Auto]	
	↑↓→←: Move Enter: Select F5: Previous Values	+/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: F6: Fail-Save Default F7: Optimized Defaul	Exit F1: General Help ts
	間違った使用はシ ください!	ステムの故障の原因となります 。 パワ [.]	ーユーザーのみ操作して
E			
0			
	Auto By SPD BIO		イミングを自動設定しま
	ज त	。(テフオルト値)	
	Manual ユ-	-ザにより DRAM タイミングを手動設定	こします 。
9	DRAM CAS Latency		
	▶ 1.5/2/2.5/3 DRA	AM CAS Latency 時間を 1.5/2/2.5/3 に設定しま	₣す(デフォルト値∶2.5)。
9	Bank Interleave		
	ユーザにより DRAM ア	クセスメソッドを設定します。	
	4Bank/2Bank/Disabled	DRAM アクセスメソッドを 4Bank/2Ba	ink/Disanled に設定します
		(デフォルト値:4Bank) 。	
¢	Precharge to Active (Tr	rp)	
	▶ 2T/3T/4T/5T	Precharge to Active (Trp)を2T/3T/4T/5T /	こ設定します(デフォルト
		值:3T)。	
σ	Active to Precharge (Tr	ras)	
	► 6T/7T/8T/9T	Active to Precharge (Tras)を 6T/7T/8T/0T /	「設定」ます(デフォルト
	01/11/01/31		こ 成 足 じ よ 9 () シ オ ル ト
-	A stine to OND (T I)	1旦:0Ⅰ)。	
9	Active to CNID (Trcd)		
	▶ 2T/3T/4T/5T	_ Active to CMD (Trcd)を 2T/3T/4T/5T に設定し	ます(デフォルト値:3T) 。
Φ	RET to ACT/REF to RE	F (Trfc)	
	▶ 12T/13T/14T/15T	RET to ACT/REF to REF (Trfc)を 12T/13T/14	4T/15T に設定します(デフ
		オルト値:12T)	· ·
œ	ACT(0) to ACT(1) (Trrd) ,	
	DRAM DIMM が装着され	, た場合、ユーザにより ACT(0)~ACT(1)。	(Trrd)を選択します。
			オ(デフォルト値・27)
	ZI/31	ハロ(の) ひい(り(110)を 21/31 に改定しま	、 ッ (ノ ノ Л ノレ I* II旦 · Z I) 。

pyright (C) 1984-2004 Award Softwa

- ∽ CPU Ratio Control CPU レシオを固定で使用している場合は、この選択項目は表示されないか、使用不能 となります。
- ▶ 5X~22.5X,Normal CPU クロックレシオに依存します。(デフォルト値:ノーマル)

Spread Spectrum Modulated

- クロックのスプレッドスペクトラムを無効にします Disabled
- クロックのスプレッドスペクトラムを有効にします。(デフォルト値) Enabled **CPU Host Clock Control**
- - 注:システムが CMOS セットアップユーティリティ起動前にハングアップした場合 は、20 秒間の再起動タイムアウト時間を待ってください。タイムアウトが起こると、 システムはリセットされ、CPU はデフォルトホストクロックに戻って再起動します。
 - CPU ホストクロック制御を無効にします。(デフォルト値) Disable
 - Enable CPU ホストクロック制御を有効にします。

∽ CPU Host Frequency (MHz)

- この設定を変更するには、先ず"CPU Host Clock Control"で"Enable"を選択します。
 - CPU ホストクロックが 100MHz の場合、CPU ホストクロックを調整 ▶ 100-132 するため 100MHz-132MHz の範囲を選択できます。
 - CPU ホストクロックが 100MHz の場合、CPU ホストクロックを調整 133-165 ₩ するため 133MHz-165MHz の範囲を選択できます
 - ▶ 166-250 CPU ホストクロックが 100MHz の場合、CPU ホストクロックを調整 するため 166MHz-250MHz の範囲を選択できます。
- ₩ 200-254 CPU ホストクロックが 100MHz の場合、CPU ホストクロックを調整 するため 200MHz-254MHz の範囲を選択できます。
- ☞ PCI/AGP Frequency (MHz)
 - 数値は CPU ホストクロック(MHz)に依存します。
- DRAM Clock (MHz)
 - BIOSはDRAM SPDデータによりDRAMクロックを自動設定します。 ➡ By SPD (デフォルト値)
 - DDR266 DRAM モジュールをご使用の場合は、"DRAM Clock (MHz)"を ₩ 133 "133"に設定してください。
 - DDR333 DRAM モジュールをご使用の場合は、"DRAM Clock (MHz)"を • 166 "333"に設定してください
 - ▶ 200 DDR400 DRAM モジュールをご使用の場合は、"DRAM Clock (MHz)"を "400"に設定してください。
- CPU Voltage Control

CPU 電圧を上昇させると、オーバークロックに安定する可能性があります。ただし、 この機能を使用すると CPU に損傷を与える可能性があります。

- ▶ CPU コア電圧を 1.100V から 2.05V の範囲で 0.005V ステップ調節できるようにサポ -トします。
- (デフォルト値:ノーマル)
- Normal CPU Vcore
 - ▶ CPU Vcore 電圧を表示します。
- AGP Voltage Control
 - AGP 電圧を上昇させると、オーバークロックに安定する可能性があります。ただし、 この機能を不正に設定すると、AGP カードに損傷を与える可能性があります。
 - AGP 電圧を標準に設定します(1.5V)。(デフォルト値) Auto
 - AGP 電圧を+0.1V 上げます。 +0.1∨
 - AGP 電圧を+0.2V 上げます。 • +0.2V
 - AGP 電圧を+0.3V 上げます。 +0.3V
- DDR Voltage Control

DDR電圧を上昇させると、オーバークロックに安定する可能性があります。この機能を正しく設定しなかった場合、メモリモジュールを損傷する可能性があります。

- DDR 電圧をメモリモジュールの標準に設定します。(デフォルト値) • Auto
- +0.1V DDR 電圧を+0.1V 上げます。
- DDR 電圧を+0.2V 上げます。 •• +0.2V
- ₩ +0.3V DDR 電圧を+0.3V 上げます。

GA-7VT880 シリーズマザーボード



Integrated Peripherals Power Ma

PnP/PCI (PC Health 3

► Þ Þ

Þ ESC: Quit F8: Dual BIOS/Q-Flash

CMOS Setup Utility-Copyright (C)

Load Fail-Safe Defa

ty-Copyright	(C) 1984-2004 Award Software	日
	Load Fail-Safe Defaults Load Optimized Defaults Set Supervisor Password	
d Fail-Safe D	Defaults (Y/N)? N	
	LAR WHIDUR Saving	
	↑↓→←: Select Item	
	F10: Save & Exit Setup	
Load Fail-S	afe Defaults	

Fail-Safe defaults はシステムパラメータの最適値で構成され、システムに最低限の性能で動 作します。

Load Optimized Defaults

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software				
Standard CMOS Features Advanced BIOS Features Integrated Peripherals Power Ma PnP/PCI (Load Optimized I PC Health status MB Intelligent Tweaker(M.I.T)	Load Fail-Safe Defaults Load Optimized Defaults Set Supervisor Password Control Password Defaults (Y/N)? N			
ESC: Quit F8: Dual BIOS/Q-Flash Load Optimi	↑↓→←: Select Item F10: Save & Exit Setup ized Defaults			

この設定を選択すると、BIOS の出荷時デフォルト値およびシステムが自動検知するチッ プセット機能がロードされます。

BIOS のセットアップ

Set Supervisor/User Password

CMOS Setup Utility-Copyright (C) 1984-2004 Award Software			
 Standard CMOS Features 	Load Fail-Safe Defaults		
 Advanced BIOS Features 	Load Optimized Defaults		
 Integrated Peripherals 	Set Supervisor Password		
► Power Ma			
PnP/PCI (Enter Password:			
PC Health Status	LAR WITHOUT SAVING		
MB Intelligent Tweaker(M.I.T)			
ESC: Quit	↑↓→←: Select Item		
F8: Dual BIOS/Q-Flash	F10: Save & Exit Setup		
Change/Set/Disable Password			

この機能を選択すると、画面中央に以下のメッセージが表示され、パスワード作成のヒントを提供します。

最大8文字のパスワードをキー入力し、<Enter>を押します。パスワードの確認を求められます。パスワードを再度キー入力し、<Enter>を押します。<Esc>を押すと設定は中断され、パスワード入力を中止します。

パスワードを無効にするには、パスワード入力を求められた時点で<Enter>を押しま す。"PASSWORD DISABLED"というメッセージが表示され、パスワード無効を確認します。 パスワードが無効になると、システムが起動し、いつでもセットアップが可能となりま す。

BIOS セットアッププログラムには異なる2つのパスワードが使用できます。

SUPERVISOR PASSWORD および USER PASSWORD です。無効にすると、誰でも BIOS セットアッププログラム機能が使用できます。有効にすると、BIOS セットアッププログラムの設定欄全てを表示するには管理者パスワード、基本項目のみ表示するにはユーザーパスワードの入力が必要となります。

詳細 BIOS 機能メニュー内の"Password Check"で"System"を選ぶと、システム再起動のたびまたはセットアップに入るたびに、パスワード入力が要求されます。

詳細 BIOS 機能メニュー内の"Password Check"で"Setup"を選ぶと、セットアップに入るときのみパスワード入力が要求されます。



CMOS Setup	Utility-Copyright	(C) 1984-2004 Award Software
Standard CMOS Features Advanced BIOS Features Integrated Peripherals Power Magnetic		Load Fail-Safe Defaults Load Optimized Defaults Set Supervisor Password
PnP/PC1 (PC Health status MB Intelligent Tweaker(M.I.T)	Save to CMOS an	Id EXIT (Y/N)? Y
ESC: Quit F8: Dual BIOS/Q-Flash		↑↓→←: Select Item F10: Save & Exit Setup
	Save & E	Exit Setup



"Y"を入力すると、ユーザー設定値をRTC CMOSに保存し、セットアップユーティリティを 終了します。 "N"を入力すると、セットアップユーティリティに戻ります。

Exit Without Saving

CMOS S	etup Utility-Copyright	(C) 1984-2004 Award Software	
Standard CMOS Features Advanced BIOS Features Integrated Peripherals Power Me PnP/PCI (PnP/PCI (Prevent)	Quit Without S	Load Fail-Safe Defaults Load Optimized Defaults Set Supervisor Password awing (Y/N)? N	
 PC Health Status MB Intelligent Tweaker(M 	.I.T)	LAR WITHOUT Saving	
ESC: Quit		↑↓→←: Select Item	
F8: Dual BIOS/Q-Flash		F10: Save & Exit Setup	
	Abandor	n all Data	

"Y"を入力すると、ユーザー設定値をRTC CMOSに保存せずにセットアップユーティリティ を終了します。 "N"を入力すると、セットアップユーティリティに戻ります。

BIOS のセットアップ



-		

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 48 -

第4章 技術情報

@BIOS™紹介

Gigabyte が@BIOS を発表します Windows BIOS ライブアップデートユーティリティ



BIOS 更新をご自分で行ったことがおありです か?または BIOS は何かは知っていても更新する のは躊躇する、大勢の一人かもしれません?理由 としては、最新の BIOS への更新は不必要である と感じたり、実際の更新方法がわからない、など があります。

または一般とは異なり、BIOS 更新の経験が豊富で、多くの時間を費やしておられる かもしれません。当然、これを頻繁に行うことはお望みではないでしょう。まず個々の BIOS をウェブサイトからダウンロードし、オペレーティングシステムを DOS モードにし ます。それから個々のフラッシュユーティリティを使って BIOS を更新します。これらの プロセスは面白い作業ではありません。さらに、BIOS の誤った更新では悪夢となります から、BIOS ソースコードはディスクに注意して保存する必要があります。

確実に、皆さんはマザーボードベンダーがなぜ面倒な BIOS 更新操作の時間と労力を 省く何かいい方法を考え出さないのか、いぶかしく思っておられるでしょう? ここでは 実現したのです!ここで Gigabyte は初の Windows BIOS ライブアップデートユーティリティ である@BIOS を発表いたします。これはスマートな BIOS 更新用のソフトウェアです。こ れで BIOS はインターネット経由でダウンロードおよび更新が行われます。他の BIOS 更新 ソフトウェアとは異なり、これは Windows ユーティリティです。"@BIOS"のおかげで、 BIOS 更新はクリックひとつで OK です。

さらに、ご使用のマザーボードがいずれの Gigabyte 製品であっても@BIOS が BIOS のメ ンテナンスを行います。当ユーティリティはご使用のマザーボードのモデルを正確に検 知し、それに合った BIOS を選択します。それから BIOS が最寄の Gigabyte の ftp サイトから 自動的にダウンロードされます。ここで幾つかの方法が選択可能です。"Internet Update"を 利用して BIOS のダウンロードと更新を直接行うこともできます。または、現在の BIOS の バックアップを保存したい場合は"Save Current BIOS"を選んで先に保存することもできま す。Gigabyte の@BIOS を利用してお持ちの BIOS 更新をスマートに行えます。これで誤った BIOS 更新の心配は無くなり、BIOS のメンテナンスと管理が容易になります。Gigabyte は画 期的な製品により、マザーボード業界において再び里程標を打ち立てました。

このすばらしいソフトウェアの費用はどれほどでしょうか?信じられません!無料 なのです!Gigabyte 製マザーボードをお買い求めになると、付属のドライバ CD 内にこの 画期的ソフトウェアが収録されています。ただし、Gigabyte @BIOS からのインターネット BIOS 更新には、まずインターネット接続が必要であることをお忘れなく。

BIOS のフラッシュ方法の説明

方法1:デュアル BIOS/Q-Flash

A. Dual BIOS™技術って何?

Dual BIOS では、マザーボード上にメイン BIOS とバックアップ BIOSという2つのシステム BIOS(POM)が搭載されています。通常は、メイン BIOS を利用してシステムを動作します。 メインボード BIOS が破壊されたりして利用できない場合、システムの電源がオンになっ ている間に、バックアップ BIOS を利用してシステムを動作します。つまり、BIOS には何 もなかったかのように、PC が正常に作動することとなります。

B. Dual BIOS と Q-Flash ユーティリティの使い方は?

 コンピュータの電源をオンにし、パワーオンセルフテスト(POST)が開始されたら直ち にキーを押し、AWARD BIOS SETUP に入ってください。そして、<F8>を押して FLASH ユーティリティを起動します。

CMOS Setup Utility-Copyright	(C) 1984-2004 Award Software
Standard CMOS Features Advanced BIOS Features Integrated Peripherals Power Ma PnP/PCI C Enter Dual BIOS/Q-F PC Health Suatus Frequency/Voltage Control	Top Performance Load Fail-Safe Defaults Load Optimized Defaults
Loc: Quit F8: Dual BIOS/Q-Flash	↑↓→←: Select Item F10: Save & Exit Setup

2) Award Dual BIOS Flash ROM プログラミングユーティリティ

Dual BIOS	Utility V1.33	
Boot From	Main Bios	
Main ROM Type/Size	SST 39SF040	512K
Backup ROM Type/Size	SST 39SF040	512K
Wide Range Protection	Disable	
Boot From	Main Bios	
Auto Recovery	Enable	
Halt On Error	Disable	
Keep DMI Data	Enable	
Copy Main ROM	I Data to Backup	
Load Defa	ult Settings	
Save Settin	gs to CMOS	
Q-Flasi	n Utility	
Update Main BI	OS from Floppy	
Update Backup E	IOS from Floppy	
Save Main B	IOS to Floppy	
Save Backup I	BIOS to Floppy	
PgDn/PgUp: Modify ↑↓: Move	ESC: Reset	F10: Power Off

GA-7VT880 シリーズマザーボード



- 3) Dual BIOS アイテムの説明:
- Wide Range Protection: Disable (Default), Enable 状態 1:

メイン BIOS に故障が発生した場合(ESCD の更新失敗、チェックサムエラーやリセット など)、電源が入り、オペレーションシステムが読み込まれる直前に、Wide Range Protection が"Enable"に設定されていると、PC がバックアップ BIOS から起動します。 状態 2:

ユーザーがシステムに変更を加えた後、周辺機器カード(SCSI カードや LAN カードなど)の ROM BIOS がシステム再起動の要求を発した場合、起動 BIOS はバックアップ BIOS へ変更されます。

• Boot From: Main BIOS (Default), Backup BIOS

状態 1: 起動する BIOS をメイン BIOS/バックアップ BIOS から選択することできます。 状態 2: どちらかの BIOS が利用できないとき、本アイテム "Boot From : Main BIOS (Default)"は淡色表示になり変更できません。

• Auto Recovery: Enable (Default), Disable

2 つの BIOS のどちらかにチェックサムエラーが生じたとき、エラーでない BIOS が自動的にエラーの生じた BIOS を回復します。

(BIOS 設定 : Power Management Setup(電源管理セットアップ)で ACPI Suspend Type(ACPI サ スペンドの種類)が Suspend to RAM(サスペンドから RAM)のとき、本項目は自動的に Enable(有効)になります。)

(BIOS 設定に入りたい場合は、起動画面が表示されたら"Del"キーを押してください。) Halt On Error: Disable (Default). Enable

BIOS にチェックサムエラーが生じたとき、またはメイン BIOS にワイドレンジ保護エラー(WIDE RANGE PROTECTION error)が生じたとき、Halt On Error が Enable に設定されている場合に、PC はシステム起動時にメッセージが表示され、ユーザーの指示を待つ 状態で一時停止します。

Auto Recovery の場合: **Disabled、**<or the other key to continue>と表示されます。 Auto Recovery の場合: Enable、<or the other key to Auto Recover>と表示されます。

- Keep DMI Data: Enable (Default), Disable
 - 有効: DMI データは新しい BIOS の書き込みで置き換えられません。(推奨) 無効: DIMI データは新しい BIOS の書き込みで置き換えられます。
- Copy Main ROM Data to Backup

(ハングアップ ROM から起動のとき、"バックアップ ROM データからメインへのコピー"に変更されます)

- オートリカバリーメッセージ
- **BIOS Recovery: Main to Backup**

メイン BIOS が正常に作動し、自動的にバックアップ BIOS を復元します。

BIOS Recovery: Backup to Main

バックアップ BIOS が正常に作動し、自動的にメイン BIOS を復元します。(このオートリカバリーユーティリティはシステムにより自動設定され、ユーザーによる変更はできません。)

- Load Default Settings dual BIOS の既定値を読み込みます。
- Save Settings to CMOS 修正した設定を保存します。

技術情報



C. Q-Flash ユーティリティとは?

Q-Flash ユーティリティは OS 不要の BIOS フラッシュユーティリティで、OS を起動せずに BIOS モード上で BIOS 更新が可能なフラッシュユーティリティです。

D. Q-Flash の使用方法?

フロッピーからメイン BIOS をロード/フロッピーからバックアップ BIOS を更新

		I File(s) found	1	
	XXXX.XX		25	6K
	Total Size: 1.39M F5: Refresh	Free S DEL: Delete	ize: 1.14M ESC: Return Main	n
	この XXXX	.XX は BIOS 名	称です。	
✓ Enter を押すと実行	rされます 。			
	Are yo	ou sure to update 1	BIOS?	
	[Enter] to	contiune Or [ESC]] ot abort	
✓ Enter を押すと実行	iされます。			
	!! СОРҮ	BIOS Completed	1 - Pass !!	
	Please	press any key to co	ontinue	
これで完了です!フラ	ッシュ操作は	完了したのでシ	マテムの再起動	助を行

メイン BIOS をフロッピーに保存/バックアップ BIOS をフロッピーに保存

	Fotal Size: 1.39M	Free S	Size: 1.14M
1	F5: Refresh	DEL: Delete	TAB: Switch

制御用キー

<pgdn pgup=""></pgdn>	設定を変更
< 1 >	前の項目に戻る
<↓>	次の項目に進む
<enter></enter>	実行
<esc></esc>	リセット
<f10></f10>	電源オフ

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 52 -





DualBIOS™テクノロジーの FAQ

GIGABYTE Technology、システム BIOS2 つ搭載した画期的なデュアル BIOS 技術 を発表しました。GIGABYTE から長いシリーズの革新により、このマザーボー ドで最新の"付加価値"機能が実現されました。今後の GIGABYTE マザーボードに 搭載される予定です。

DualBIOS™って何?

DualBIOS を搭載した GIGABYTE マザーボードには、2 つの BIOS チップが用意されてい ます。単純明快に、ひとつを"メイン BOIS"、もうひとつを"バックアップ BIOS" (ホットス ペア)と呼ぶことにします。メイン BIOS にエラーが発生すると、ほぼ自動的にバックアッ プ BIOS が作動してシステムが起動されます。ほぼ自動的に、そして時間のロスもなく交 換が行われます!トラブルが BIOS の書き換え失敗であっても、ウィルスや致命的なメイ ン BIOS チップの破壊などであっても、結果は同じです。バックアップ BIOS がほぼ自動的 にシステムを保護してくれます。

I. Q: DualBIOS™技術はどのように働くのですか? 答:

DualBIOS 技術は Giga-Byte Technology による特許技術です。システム復旧を簡単に、短時間で実現します。DualBIOS™テクノロジーは、簡単に言えば2つの BIOS (ROM)が1つの マザーボードに統合されている技術です。ひとつはメイン BIOS、もうひとつはバックア ップ BIOS です。メイン BIOS にエラーなど問題が生じたとき、自動的にバックアップ BIOS を使ってシステムを起動することができます。PC はメイン BIOS が破壊される前と全く同 じ状態で作動し、ユーザーは何の変化なくPC を使用することができます。

II. Q: なぜ DualBIOS[™]テクノロジーの必要性があるのでしょう? 答:

現在、BIOS は多くの脅威に直面しています。ウィルスの攻撃や BIOS アップデートの 失敗、BIOS の ROM 自体に問題が生じることもあります。

- A. LOG OF MARKEN AND A CONTROL CONTROL AND A CONTROL
- 電源のロス、変動などが起きたり、ユーザーがシステムをリセットしたり、システム BIOS 更新中に電源が切れたりした場合も、BIOS データが破壊されることがあります。
- 3 また、ユーザーが不当な BIOS ファイルで誤ってメインボードを更新した場合、 システムは正常に起動できない場合があります。このような操作は、操作中や起 動時にシステムをフリーズさせる原因となります。
- 4. フラッシュROMの寿命は電気性質により制限されます。最新のPCはプラグ&プレイ BIOS を搭載しており、定期的に更新されるようになっています。頻繁に周辺 機器を変更される場合は、フラッシュ ROM に破損をきたすことがあります。

Giga-Byte Technologyの特許取得済み DualBIOS™技術は、起動時のフリーズや BIOS データの 損失などを最小限にとどめることができます。

この新技術により BIOS のエラーのためのシステムダウンや修理費用などを解決することができます。



III. Q: DualBIOS™技術はどのように働くのですか?

答:_

この新技術により BIOS のエラーのためのシステムダウンや修理費用などを解決することができます。

- DualBIOS™技術は、起動過程における幅広い保護を提供します。POST 中、ESCD 更新、そして PnP 検出/割当において BIOS を保護することができます。
- DualBIOS™は BIOS の自動復元を提供します。起動時に使われる最初の BIOS が完了 できない場合、または BIOS チェックサムエラーが発生した場合でも、起動は可 能です。DualBIOS™ユーティリティでは、メイン BIOS またはバックアップ BIOS の 破損時に、"オートリカバリー"オプションが DualBIOS™技術を使って正常な BIOS を起動させ、破壊した BIOS を自動的に修復することが保証できます。
- DualBIOS™は BIOS の手動復元を提供します。DualBIOS™技術には内蔵書き換えユ ーティリティが含まれており、バックアップからメインへ、またはその逆にシス テム BIOS を書き換えることができます。OS のユーティリティプログラムを使用 する必要はありません。
- DualBIOS™には一方向への書き換えユーティリティが含まれています。内蔵の一方向フラッシュユーティリティは、破壊された BIOS が誤って正しい BIOS と認識され、正しい BIOS(メインまたはバックアップ)を書き換えてしまわないよう保護します。こうして、正しい BIOS が失われることを防ぎます。

IV.Q: どんな場合に DualBIOS™テクノロジーが必要なのでしょう?

答:

この新技術により BIOS のエラーのためのシステムダウンや修理費用などを解決する ことができます。

- コンピュータウィルスが威力を増している今日、どのユーザーにも DualBIOS™技術は必要です。システム BIOS を破壊してしまう新しい BIOS タイプのウィルスは毎日のように発見されています。市販されているウィルス除去プログラムなど大部分は、このタイプのウィルスに対する保護を含んでいません。そこで、DualBIOS™技術があなたの PC を保護するための唯一のソリューションを提供します。
- 状況1。) 悪質なコンピュータウィルスがシステム BIOS 全体を消去してしまうことが あります。これまでの単ーシステム BIOS PC の場合、PC を修理に出さなけ れば正常な操作はできません。
- 状況 II.。) DuaBIOS™ユーティリティで*オートリカバリー*オプションが有効に設定されていれば、ウィルスがシステム BIOS を破壊した場合でも、BIOS は自動的にシステムを再起動し、メイン BIOS を修復することができます。 状況 III.。) ユーザーはメインシステム BIOS からの起動を上書きすることができます。
- 状況 III。)ユーザーはメインシステム BIOS からの起動を上書きすることができます。 バックアップ BIOS からの起動順序を手動で変更するために、DualBIOS™ユ ーティリティに入ることができます。
- BIOSの更新中または更新後にDualBIOS™がメイン BIOSの破損を検出した場合、自動的にバックアップ BIOS が代わって起動に使用されます。更に、起動時にメインとバックアップ BIOS のチェックサムを確認します。DualBIOS™ 技術はシステム起動時にメイン BIOS とバックアップ BIOS のチェックサムを確認し、BIOS が正しく作動するよう図ります。
- ベテランユーザーも2つのBIOS バージョンを持つメインボードを大いに活用する ことができます。システム性能に合ったバージョンの BIOS を選択して使用する ことができます。
- ことができます。 4. PC やワークステーション/サーバーにより高い柔軟性を提供します。DualBIOS™ユ ーティリティでは、"Halt On When BIOS Defects"のオプションを選択し、メイン BIOS が破壊された場合に警告メッセージと共にシステムを停止するよう設定すること ができます。ほとんどのワークステーション/サーバーは、サービス機能を損な わないよう安定した継続的な運営が必要となります。この場合、正常な起動時に システムが停止しないよう、"Halt On When BIOS Defects"メッセージは無効となりま す。

´更⊂、Giga-Byte の DualBIOS™技術は、今後 BIOS 用の追加容量が必要になった場合、デュアル 2M ビット BIOS からデュアル 4Mbit BIOS への更新が可能となる機能 も提供しています。

GA-7VT880 シリーズマザーボード -



方法 2 : @ BIOS™ユーティリティ

DOS 起動ディスクをお持ちでない場合は、Gigabyte @BIOS™プログラムを利用して BIOS フ ラッシュを行うようお勧めします。





Sigabyte @BIOS Writer for Win9x/ME/NT4/2000/XP X ***をクリック TT ここでクリックしてくだ してください。 18 さい。 BIOS Model Version Information : AWARD BIOS Update New BIOS Internet Update Clear DMI Data Po Save Current BIOS Clear PnP Data Pool About this program E SMU Exit (3)



(4)

方法と手順:

- 1. インターネット経由で BIOS を更新:
 - a. "Internet Update"アイコンをクリックします
 - b. "Update New BIOS" アイコンをクリックします
 - c. @BIOS™サーバを選びます
 - d. ご使用のマザーボードの正確なモデル名を選択します
 - e. システムは BIOS のダウンロードと更新を自動的に行います。
- 2. インターネットを経由しないで BIOS を更新:
 - a. "Internet Update"アイコンはクリックしないでください
 b. "Update New BIOS"アイコンをクリックします

 - c. ファイルを開ける際には、ダイアログボックスから"All Files"を選びます。
 - d. インターネットやその他の方法からダウンロードした BIOS の非圧縮ファイル (例:7VT880PRO.F2)を見出してください。
 - e. 続く指示に従って更新操作を完了させます。

技術情報



3. BIOS の保存

- 最初の段階でダイアログボックスに"Save Current BIOS"アイコンが表示されます。これ は現在使用中のバージョンの BIOS を保存することを意味します。
- サポートされているマザーボードおよびフラッシュ ROM の確認: 最初の段階でダイアログボックスに"About this program"アイコンが表示されます。これ はサポートされるマザーボードとフラッシュ ROM メーカーの確認に役立ちます。

注:

- a. 方法 | で、選択すべきマザーボードのモデル名が2つ以上表示される場合には、ご使用のマザーボードのモデル名を再確認してください。間違ったモデル名を選択すると、システムが起動不能となります。
- b. 方法IIでは、BIOS非圧縮ファイルのマザーボードのモデル名が実際にご使用のマザー ボードと一致していることをご確認ください。一致しないと、システムは起動しま せん。
- c. 方法 | で、必要な BIOS ファイルが@BIOS™サーバ内に見つからない場合は、Gigabyte ウェブサイトからダウンロードし、方法 || で更新してください。
- d. 更新途中に中断すると、システム起動が不能になる点にご注意ください。



2-/4-/6-チャンネルオーディオ機能紹介

Windows 98SE/2K/ME/XP 上でのインストールはとても簡単です。以下のステップに従って 機能をインストールしてください!

<u>ステレオスピーカー接続および設定:</u>

ステレオ出力を利用する場合、最良のサウンド効果を得るにはアンプ付きスピーカーの 使用をお勧めします。

ステップ1: ステレオスピーカーまたはヘッドホンを"ラ イン出力"に接続します 。



ライン出力





技術情報



<u>4 チャンネルアナログオーディオ出力モード</u>

ステップ1: フロントチャンネルは"ライン出力"に、リア チャンネルは"ライン入力"に接続します。



ライン出力 ライン入力



GA-7VT880 シリーズマザーボード



基本的な6チャンネルアナログオーディオ出力モード

オーディオ出力の接続には、他のモジュール を追加せず後部オーディオパネルのみを使用 します。 ステップ1:

フリント + マンネルは"ライン出力"に、リア チャンネルは"ライン入力"に、センター/サブ ウーファーチャンネルは"マイク入力"に接続 します。



マイク入力 ライン出力

ステップ2: オーディオドライバをインストールすると、 タスクバーのステータスエリアに 😡 アイ コンが表示されます。画面下部の Windows ト レイ中の"Sound Effect"のオーディオアイコン をクリックします。





Sound Effect

🏷 📸 🗟 💽 10:41 AM

技術情報



<u>アドバンス 6 チャンネルアナログオーディオ出力モード(オーディオコンボキット、オプ</u> ション装備):

(オーディオコンボキットには、SPDIF 出力:光信号&同軸およびサラウンドーキット:リア R/L &センター/サブウーファーが装備されています)

サラウンドーキットはリアチャンネルおよび センター/サブウーファーチャンネルのアナ ログ出力にアクセスします。6 チャンネル出 カとライン入力およびマイクを同時使用する 場合は、この装備が最適なソリューションで す。"サラウンドーキット"は、図の様に GIGABYTE 特製の"オーディオコンボキット"中 に含まれています。



ステップ1: ケース後部に"サラウンドーキット"を装着 し、ネジ止めします。



ステップ 2 : "サラウンドーキット"をマザーボード上の SUR_CEN コネクタに接続します 。



GA-7VT880 シリーズマザーボード

- 60 -

日本語



۲



<u>基本的およびアドバンス 6 チャンネルアナログオーディオ出力モード</u> に関する:注:

"Environment settings"が"None"の場合、サウンド はステレオモード(2 チャンネル出力)となり ます。6 チャンネル出力には別の設定を選ん でください。

ステップ3: フロントチャンネルを後部オーディオパネル

の"ライン出力"に、リアチャンネルをサラウ ンドーキットの REAR R/L に、センター/サブ ウーファーチャンネルをサラウンドーキット

の SUB CENTER に接続します。





<u>SPDIF 出力デバイス(オプションデバイス)</u>

"SPDIF 出力"デバイスがマザーボード上 で使用可能です。リアブラケット付き ケーブルが装備され、"SPDIF 出力"コネ クタに接続できます(図参照。)デコーダ 一への接続用に、リアブラケットには 同軸ケーブルおよび光ファイバーコネ クタポートが装備されています。



SPDIF 出力デバイスを PC のリアブラケットに装着し、ネジ止めします。



2. SPDIF デバイスをマザーボードに接続します。



3. SPDIF から SPDIF デコーダーに接続しま す。



- 62 -

Jack-Sensing 紹介



Jack-Sensing はオーディオコネクタにエラー検 知機能を付与しています。





Windows 98/985E/2000/ME 環境で Jack-Sensing 機能を有効にするには、まず Microsoft DirectX8.1 またはそれ以降のバージョンをインストールしてください。

Jack-Sensing は2部分から構成されています:自動とマニュアルです。以下は2チャンネルを例としています(Windows XP):

オーディオコネクタの紹介

CDROM,ウォークマンやその他オーディオ入 カデバイスをライン入力ジャックに、スピー カー、ヘッドホンその他オーディオ出力デバ イスをライン出力ジャックに、マイクはマイ ク入力ジャックに接続します。



自動検知:

「ボイスを上記の正しい組合せで接続しま す。デバイスを正しく接続した場合、ウィン ドウにも正しく図示されます。 3Dオーディオ入力が存在する時のみ 3Dオー ディオ機能が表示される点にご注意ください。



技術情報



コネクタへの接続に誤りがある場合、右 図の様に警告メッセージが表示されま す。



マニュアル設定:



AC97 Audio Configuration

デバイスの図が設定と異なる場合は、"Manual Selection"を押して設定してください。

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 64 -



UAJ 紹介

UAJ (Universal Audio Jack)はとてもスマートな機能です:ユーザーがオーディオデバイスを間違ったジャックに差しても、信号は自動的に切替えます(ライン入力/ライン出力)。

これはオーディオデバイスをライン入力のライン出力のどちらに差すか、ユー ザーは心配せずにすむことを意味しています。UAJ が有効の場合はデバイスは 問題なく動作します。



Windows 98/98SE/2000/ME 環境で UAJ 機能を有効にするには、まず Microsoft DirectX8.1 またはそれ以降のバージョンをインストールしてください。

追記 UAJ がうまく作動しない場合は、 "UAJ information"ボタンをクリックしてこ の機能をオフにしてください。これで ジャック検知機能がオンになり、オー ディオデバイスが正しいジャック(ライ ン入力またはライン出力)に差される と、自動検知されます。



UAJ の再有効化:

"UAJ AUTO"をクリックすると、UAJ を再 び有効にできます。



技術情報



音量の調節:

音量はスライドレバーで調節します。 "ミュートボタン"を押すと、一時的に音 が出ないようにできます。



ライン入力デバイスしか接続されてい ない場合は、UAJ はライン出力デバイス が接続されていないことを表示されま す。



注:

AUX入力機能を使用する場合は、AC97オーディオ設定メニューのスピーカー設 定からUAJ機能を無効にする必要があります。それから"音量コントロール"メニ ューのライン入力音量レバーで音量を調節することが必要です。これはAUX入 カとライン入力機能が同一のオーディオ信号で制御されていることによりま す。

日本語

Xpress Recovery 紹介

Xpress Recovery とは?

Xpress Recovery とは、OS パーティションのリカバリ/リストアに使用される ユーティリティです。ハードドライブが正しく動作しない場合、ユーザーはド ライブを元の状態へ戻すことができます。



1. FAT16、FAT32、NTFS フォーマット対応

- 2. IDE1 マスターに接続しなければなりません
- 注意 3. 1つのみの OS にインストール可能です。
 - 4. HPA 対応の IDE ハードディスクを使用する必要があります
 - 第1パーティションが起動パーティションとして設定されている必要があります。起動パーティションがバックアップされた場合、そのサイズを変えないでください。
 - Ghost を使用してブートマネージャを NTFS フォーマットへ戻す場合、Xpress Recovery を使用することをお勧めします。

Xpress Recovery の使用方法

1. CD から起動(BMP モード)

BIOS メニューに入り、"Advanced BIOS Feature"にて、CD からの起動を設定し ます。添付のドライバ CD を CD ドライブへ挿入し、BIOS を保存/終了します。 コンピュータの再起動時に、"Boot from CD:"の文字が画面の左下に表示されま す。"Boot from CD:"が表示された時点で、任意のキーを押し、Xpress Recovery へ入 ります。一度この操作を行った後、次回から Xpress Recovery に入るには、コン ピュータの起動時に F9 を押します。

Boot from CD:	- CD から起動
G	
Xpress Recover	V/10/C) Copy Right 2003, GIGABYTE Technology CO
	1. Execute Backup Utility
	2. Execute Restore Utility
	3. Remove Backup Image
	4. Set Password
	5. Exit and Restart
	Charles and the set

技術情報



2. コンピュータ起動中に F9 を押します。(テキストモード)



- CD から起動して Xpress Recovery へ入ったことがある場合、その後は F9 により Xpress Recovery に入ることが可能です。
 - 2. システムの保存容量およびドライブの読み書き速度が、バックアップ速度に影響します。
 - 3. OS、必要なドライバ、ソフトウェアのインストールが完了した後、 直ちに Xpress Recovery をインストールすることをお勧めします。

② 注


1. Execute Backup Utility:

✓ Bを押すとシステムをバックアップ、Esc で終了します。 Backup Utility はシステムを自動スキャンし、ハードドライブのバックアップ イメージとしてデータをバックアップします。



システムによっては、コンピュータ起動時に、F9 によって Xpress Recovery に入れないものがあります。この場合は、CD から起動して 注意 Xpress Recovery に入ってください。

2. Execute Restore Utility:

✓ このプログラムはご使用のシステムを工場デフォルト設定に戻しま す。 R を押してシステムを工場デフォルト設定に戻してください。また は Esc を押して終了します。 バックアップイメージを元の状態へ戻します。

3. Remove Backup Image:

バックアップイメージを削除します。

4. Set Password:

4-16 文字長のパスワード(a-z または 0-9)を入力してください。または Esc を押して終了します。

ハードディスクデータを保護するため、Xpress Recovery に入る時のパスワー ドを設定できます。設定後、次回からシステム起動時に Xpress Recovery へ入 るには、パスワードの入力が必要になります。パスワードを削除したい場 合、"Set Password"を選択して、"New Password/Confirm Password"に何も入力せず に"Enter"を押してください。パスワード要求は無効になります。

5. Exit and Restart:

終了してコンピュータを再起動します。



GA-7VT880 シリーズマザーボード - 70 -

日本語

シリアル ATA BIOS 設定ユーティリティ紹介

RAID レベル

RAID (Redundant Array of Independent Disks)は2台のハードディスクを1つの論理ユニットとして結合する方法です。このアレイの利点はよりよいパフォーマンスまたはデータエラー耐性です。エラー耐性はデータの冗長的操作、つまりドライブの1台が故障してもミラーコピーされたデータが別のドライブに確保されているという形で実現されます。これでオペレーティングシステムの起動不能やハングアップなどでのデータ損失を防げます。アレイの個々のディスクはメンバーと呼ばれます。各メンバーの設定情報は予備セクターに記録され、各メンバーを認識します。ディスクアレイを構成するメンバー全体が、オペレーティングシステムからは1つの論理ドライブとして認識されます。

ハードディスクドライブは数種の異なる方法で組み合わせられます。これら異なる方法 は異なる RAID レベルとして言及されます。個々の RAID レベルにより、パフォーマンスレ ベル、導入コストが異なります。VIA VT8237 サウスブリッジチップセットのサポートする RAID レベルは RAID 0, 1, および JBOD です。

RAID 0 (ストライピング)

RAID 0 では複数のドライブの間にインタリーブされたデータのセクタを読み書きしま す。ディスクメンバーのいずれかが故障すると、アレイ全体に影響します。ディスクア レイ容量は最小メンバー容量をドライブ数と掛けた量となります。ストライピングのブ ロックサイズは 4KB から 64KB まで設定できます。RAID 0 ではエラー耐性はサポートされ ません。

RAID 1(ミラーリング)

RAID1では複製されたデータが並列して2台のドライブに同時に読み書きされます。ミラ ー側のドライブが機械的に故障または応答しない場合でも、残りのドライブが機能しつ づけます。アレイ容量は冗長性により、最小のドライブ容量となります。RAID1の設定 ではスペアドライブと呼ばれる予備のドライブが接続されます。このドライブがミラー 対象アレイの部分として、故障ドライブの代わりに動作します。いずれの RAID1ドライ ブが故障しても、データ耐性があるので、アレイの他方のドライブがある限りデータア クセスには支障がありません。

JBOD (スパンニング)

スパンニングディスクアレイは異なる容量のドライブが使用されている際、その容量は 総和となります。スパンニングではデータは 1 台のドライブが一杯になるまで記録さ れ、それからアレイ内の次のドライブへと記録されます。ディスクメンバーが故障した 場合は、アレイ全体に影響します。JBOD は本当の意味での RAID ではなく、データ耐性も サポートされません。

技術情報



完全な RAID アレイを構築するため、以下ステップに従ってください:

- RAID 構築用のハードドライブを準備します。
 注:最良のパフォーマンスを得るため、ハードドライブは同様のタイプおよび容量のものを使用することをお勧めします。
- ハードドライブのコネクタを、IDE、SCSI、SATA 等、マザーボードの上の適切な場所 に接続します。
- 3) マザーボードの BIOS に入り、RAID 設定を指定します(Integrated Peripherals のセクション を参照してください)。
- 4) BIOSのRAID 設定に入り、RAID タイプを選択します(例、<Tab>を押して、VIA RAID を選 択)。
- 5) ドライバのインストールを実行してください。
- 6) RAID ユーティリティのインストールを実行してください。

ステップ4、5の詳細情報が提供されます。(さらに詳細な設定情報に関しては、Webサイトhttp:\\www.gigabyte.com.twをご覧ください)

BIOS 設定ユーティリティに入り

システム電源をオンにすると、以下の情報が画面に表示されます。<Tab>キーを押して、 BIOS 設定ユーティリティに入ってください。

VIA Technologies,Inc. VIA VT8237 Serial ATA BIOS Setting Utility V1.20 Copyright (C) VIA Technologies, Inc. All Right reserved.
Scan Devices, Please wait
Press <tab> key into User Windows</tab>
Serial_Ch0 Master: ST380013AS
Serial_Ch1 Master: ST3120023AS

BIOS 設定ユーティリティのメインインタフェースは下図のとおりです:

VIA Technol	ogies,Inc. VIA V	Г8237	Serial ATA	A BIOS Se	tting Utility	V1.20
 Create Array Delete Array Create/Delete Spare Select Boot Array Serial Number View 			Create a attacheo F1 ↑,↓ Enter ESC	a RAID arr d to VIA II : View A : Move t : Confirr : Exit	ray with the h DE controller Array/disk Sta o next item m the selectio	ard disks ntus n
Channel Serial_Ch0 Master Serial_Ch1 Master	Driver Name ST380013AS ST9120023AS	Array	Name	Mode SATA SATA	Size(GB) 74.53 111.79	Status Hdd Hdd

GA-7VT880 シリーズマザーボード

日本語

ディスクアレイの作成

1. メインメニュー内の移動には矢印キーを使用します。上下の矢印キーでCreate Arrayコ マンドを選び、<Enter>を押して作成手順の一覧を表示させます。

VIA Tech	nologies,Inc. VIA V	/T8237	Serial ATA	A BIOS Sett	ing Utility V	1.20
 Auto Setup For Da Array Mode RAID Select Disk Drives Start Create Proces 	ta Security 0 (Striping) s	I	Create a attachea F1 ↑,↓ Enter ESC	a RAID arra d to VIA ID : View A : Move to : Confirm : Exit	iy with the h E controller rray/disk Sta next item the selectio	ard disks ıtus n
Channel Serial_Ch0 Master Serial_Ch1 Master	Driver Name ST380013AS ST9120023AS	Array N	lame	Mode SATA SATA	Size(GB) 74.53 111.79	Status Hdd Hdd

 Array Mode を選び<Enter>を押すと、アレイモード一覧が表示されます。作成するアレ イモードをハイライト表示させ、<Enter>を押して選択を確定します。RAID 1を選んだ 場合、オプションリストが表示され、ユーザーが Create only または Create and duplicate のいずれかを選ぶよう促されます。Create only では、BIOS はアレイを作成するだけで す。ミラーリングドライブ上のデータはソースドライブとは異なる可能性がありま す。Create and duplicate により、BIOS はデータをソースドライブからミラーリングド ライブにコピーします。

VIA Technologies, Inc. VIA VI	F8237 Serial ATA BIOS Setting Utility V1.20
 RAID 0 for performance RAID 1 for data protection RAID 0/1 RAID SPAN for capacity 	Create a RAID array with the hard disks attached to VIA IDE controller F1 : View Array/disk Status ↑,↓ : Move to next item Enter : Confirm the selection ESC : Exit
Channel Driver Name A Serial_Ch0 Master ST380013AS Serial_Ch1 Master ST9120023AS	Array Name Mode Size(GB) Status SATA 74.53 Hdd SATA 111.79 Hdd

 アレイモード選択後、ディスクアレイ作成には2つの方法があります。1つの方法は Auto Setup で、他には Select Disk Drives です。Auto Setup では、BIOS がディスクドライ バを選択しアレイを自動作成しますが、RAID 1の場合は Create and duplicate を選択し てもミラーリングドライブへのコピーは行われません。アレイ作成の際には、ディ スクドライブは全部新しい物を使用するようお勧めします。Select Disk Drives では、 ユーザーがその必要に応じてアレイ用ドライブを選択できます。Select Disk Drives を 使用すると、チャンネル欄が入力可能となります。使用する対象のドライブをハイ ライト表示させ、<Enter>を押して確定します。全てのドライブが選択し終わった ら、<Esc>を押して作成手順メニューに戻ります。

VIA Techno	logies,Inc. VIA V	T8237	Serial ATA	A BIOS Set	ting Utility V	1.20
 Auto Setup For Perfor Array Mode RAID 0 Select Disk Drives Block Size 64K Start Create Process 	mance (Striping)		Create attache F1 ↑,↓ Enter ESC	a RAID arr d to VIA II : View A : Move to : Confirr : Exit	ay with the h DE controller array/disk Sta o next item n the selectio	ard disks itus n
Channel [*]Serial_Ch0 Master [*]Serial_Ch1 Master	Driver Name ST380013AS ST9120023AS	Array	Name	Mode SATA SATA	Size(GB) 74.53 111.79	Status Stripe0 Stripe1

 ステップ2でRAID0を選んだ場合は、アレイのブロックサイズも選択できます。矢印 キーでBlock Size をハイライト表示させ、<Enter>を押してから、ポップアップメニュ ー内からブロックサイズを指定します。ブロックサイズは4KBから64KBの範囲で指 定します。

 Auto Setup For Perform Array Mode RAID 0 (S Select Disk Drives Block Size 64K Start Create Process 	and 4K strip 8K 16K 32K 64K	Create attache F1 ↑,↓ Enter ESC	a RAID ar d to VIA I : View 4 : Move : : Confir : Exit	ray with the h DE controller Array/disk Sta to next item m the selectio	ard disks itus n
Channel E	Driver Name	Array Name	Mode	Size(GB)	Status
[*]Serial_Ch0 Master S	ST380013AS		SATA	74.53	Stripe0
[*]Serial_Ch1 Master S	ST9120023AS		SATA	111.79	Stripe1

- 5. 矢印キーで Start Create Process をハイライト表示させ、<Enter>を押します。警告メッ セージが表示され、作成を完了させるにはYを、キャンセルするにはNを押します。
- 6. 重要な注意:アレイ作成後、ハードディスクドライブ内の既存のデータは皆失われ ます。

GA-7VT880 シリーズマザーボード

ディスクアレイの削除

RAID は作成後、削除も可能です。RAID の削除は、以下の方法で行います:

- 1. メインメニュー内の Delete Array を選び、<Enter>を押します。チャンネル欄が入力可能となります。
- 削除対象のアレイメンバーを選択し、<Enter>を押します。警告メッセージが表示され、削除するにはYを、キャンセルするにはNを押します。

	VIA Techno	logies,Inc. VIA V	T8237	Serial ATA	A BIOS Se	tting Utility V	1.20
The se	Create Array Delete Array Create/Delete Sp Select Boot Arra Serial Number Vi elected array will b ou sure? Continue	are y ew e destoried. ? Press Y/N		Delete attached F1 ↑,↓ Enter ESC	a RAID ar d to VIA I : View J : Move : Confir : Exit	ray contain th DE controller Array/disk Sta to next item m the selectio	ne hard disks atus
[*]Ser [*]Ser	Channel ial_Ch0 Master ial_Ch1 Master	Driver Name ST380013AS ST9120023AS	Array	/ Name	Mode SATA SATA	Size(GB) 74.53 111.79	Status Stripe0 Stripe1

アレイ削除後、RAID 1 以外ではディスクアレイ内の既存のデータは皆失われます。RAID 削除後、2 台のハードディスク上のデータが保存され、通常の2 台のディスクドライブと なります。

起動アレイの選択

ユーザーがアレイからのオペレーティングシステムの起動を望まれる場合は、1つのアレ イを起動デバイスとして設定できます。オペレーティングシステムがディスクアレイか ら起動していない場合は起動ディスクアレイの選択はできません。Select Boot Array 項目 をハイライト表示させます;<Enter>を押すと、チャンネル欄が入力可能となります。次 に対象となるディスクアレイをハイライト表示させ、<Enter>を押します。起動マークの あるディスクアレイが選択され、<Enter>を押すと、その起動設定はキャンセルされま す。

VIA Technologies, Inc. VIA	VT8237	Serial AT	A BIOS Se	tting Utility V	/1.20
 Create Array Delete Array 		Set/Cle	ear bootabl	e array	
Create/Delete Spare		F1	: View	Array/disk Sta	atus
Select Boot Array		↑,↓	: Move	to next item	
Serial Number View		Enter	: Confir	m the selection	on
		ESC	: Exit		
Channel Driver Name	Array	Name	Mode	Size(GB)	Status
[*]Serial_Ch0 Master ST380013AS			SATA	74.53	Stripe0
[*]Serial_Ch1 Master ST9120023AS			SATA	111.79	Stripe1

技術情報

ハードディスクドライブのシリアルナンバー表示

Serial Number View をハイライト表示させ、<Enter>を押します。矢印キーでドライブを選 択すると、選択されたドライブのシリアルナンバーが最後の欄に表示されます。シリア ルナンバーはディスクドライブメーカーによって設定されています。

アレイ状況の表示

F1 キーを押すと、画面下方にアレイの状況が表示されます。ディスクアレイが存在しない場合は、画面には何も表示されません。

VIA Tec	hnologies,Inc. VI.	A VT8237	Serial AT	A BIOS Setting Utility V1.20
Create Array Delete Array Create/Delete Spa Select Boot Array Serial Number Vio	are 9 ew		Create attache F1 ↑,↓ Enter ESC	a RAID array with the hard disks d to VIA IDE controller : View Array/disk Status : Move to next item : Confirm the selection : Exit
Array Name ARRAY0	Array Mode Stripe	Block S 64K	Size(GB)	Size(GB) 149.06

C. RAID ドライバのインストール

Windwosオペレーティングシステム(Win NT、WinXP、Win2000)におけるIDE RAID/SCSI/Serial ATA機能のため、ドライバをフロッピーディスクへ転送しなければなりません。以下ステ ップに従って、ドライバのフロッピーディスクへの転送を行ってください:

- 添付のドライバ CDをハードディスクドライブ(例、D ドライブ)に挿入します 空のフォーマット済みフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブへ挿入し 1)
- 2) ます。
- 3) "コマンドプロンプト"または DOS にて、"D:\BootDrv\menu.exe"を入力してください(図 1 参照)
- 全てのチップセットの情報が画面に表示されますので(図 2 参照)、適切なチップセッ 4) トモデルを選択してください。

図 1	🔤 Command Prompt	- 🗆 ×
	Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600] (C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.	<u> </u>
	C:\Documents and Settings\K8UNXP-939>d:	
	D:\>cd hootdrv	
	D:\BootDrv>dir/w Volume in drive D is VUCD24D03.0311.1 Volume Serial Number is 8773-28FD	
	Directory of D:\BootDrv	
	[.] [] 265ATA.EXE 265AXP.EXE 265ABID.EXE 255KXP.EXE 276ABID.EXE 276ABID.EXE 237.EXE GIGADAID.EXE GIGADAID.EXE 276ABID.EXE B237.EXE GIGADAID.EXE GIGADAID.EXE 1010.EXE MENU.EXE SCSI.EXE SII.EXE SIIO1d.EXE NULLEXE 18 File(3) 2.086.153 bytes 2 Div(s) Mothers 10 bytes	
	D:\BootDrv>	-1

図2



システムは自動的に解凍を行い、ドライバの中のファイルをフロッピーディスクへ転送 します。

ステップを完了した後、Windows CD から起動して、RAID ドライバをインストールしま

す。 シリアル ATA コントローラの HDD から Windows 2000/Windows XP をインストールする場合、 Windows 2000/Windows XP の起動時に F6 を押し、このフロッピーディスクのシリアル ATA コントローラドライバを使用します。オンスクリーンの指示に従って、インストールを完 成させてください。

(新しいハードドライブを RAID アレイに加えるたびに、そのハードドライブを使用するた めに、RAIDドライバをWindows上にインストールしなければなりません。その後、ドライ ブは不要となります。)

注:メニューリストにて、IAA_RAID は Intel ICH5R チップセットを表します。

技術情報

東部



-	
-	

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 78 -



<u>ドライバのインストール</u>

🖄 下図は、Windows XP で表示されています

お買い上げのマザーボードに付属のドライバ CD-タイトルを CD-ROM ド ライブに入れると、ドライバ CD-タイトルはオートスタートし、インス トールガイドが示されます。表示されない場合は、"マイ コンピュータ" 中の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックし、setup.exe を実行 してください。

チップセットドライバのインストール

このページにはシステムにインストールが必要なドライバが示されています。 各アイテムをクリックしてドライバを手動インストールするか、 *Meerer* に切り 替えてドライバを自動インストールします。

GIGABYTE.	This page shows the divers that need to be installed each item to install the driver manually or switch to th page to install the drivers automatically.	For the system. Llick. e "Apress Install"
X	VIA 4IN1 Driver	>not installer
	USB Patch for WiridP	not installed
► INSTALL CHIPSET DRIVER	Realtek 81105 Lan Driver	>not installed
SOFTWARE	RealTek AC97 Audio Driver	not installed
,	VIA 8237 Setial ATA Driver	not installed
SOFTWARE	VIA USB 2.0 Controller	
HARDWARE		
CONTACT US		
		FYIT

"Xpress Install"は"Click and GO"テクノロジーにより、ドライバを自動インストール します。必要なドライバを選んで"GO"ボタンをクリックしてください。 がていた。 はインストールを自動的に実行します。



- 79 -

付録





ドライバのインストールが完了し ました! システムを再起動する必要があり ます!

項目の説明

- VIA 4IN1 Driver
- INF, AGP, IDE および DMA 用ドライバ ■ USB Path for WinXP
- このパッチドライバで、XP上でS3からUSBデバイスウェイクアップを実行 するとハングアップする問題を解決できます
- Realtek 8110S Lan Driver (LAN)^{(①})/ Realtek Lan Driver^(②) RealTek 10/100/1000 LAN チップドライバ(①) RealTek 10/100 LAN チップドライバ(②)
- RealTek AC97 Audio Driver
 - Realtek AC97 コーデックチップセット用のオーディオドライバ
- VIA 8237 Serial ATA Driver
 VIA VT8237 シリアル ATA ドライバ用。
- VIA USB 2.0 Controller XP 用の USB 2.0 ドライバ情報



Windows XP オペレーティングシステム環境での USB2.0 ドライバサポートについて は、Windows Service Pack をご使用ください。Windows Service Pack インストール後、 "デバイスマネージャ"内の"ユニバーサルシリアルバスコントローラ"の欄には疑 問符"?"が表示されます。疑問符を取り除きシステムを再起動してください(シス テムは正しい USB2.0 ドライバを自動検出します)。

① GA-7VT880 Pro向けのみ。 ② GA-7VT88-L向けのみ。

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 80 -



ソフトウェアのアプリケーション

このページには、Gigabyte および各国のパートナーから開発された付加価値の あるソフトウェアを紹介します。

GIGABYTE:		
	Gigabyte Windows Utilities Manager(GWUM)	
TATION	Gigabyte Management Tool(GMT)	
Install	EasyTune4	
	DMI Viewer	
INSTALL	FaceWoard	
AIPSET DRIVER	ଜଣପର	
SOFTWARE	Acrobat e-Book	
APPLICATION	Acrobat Reader	
	Norton Internet Security(NIS)	
INFORMATION	DirectX 9	
HAROWARE		
INFORMATION		
CONTACT US		

- Gigabyte Windows Utilities Manager (GWUM)
 このユーティリティは Gigabyte アプリケーションをシステムトレイに統合します
- Gigabyte Management Tool (GMT)
- コンピュータをネットワーク経由で管理できる便利なツールです ■ EastTune4
 - オーバークロックとハードウェアモニタ機能を統合した強力なユーティリ ティです
- DMI Viewer
 システムの DMI/SMBIOS 情報を表示する Windows ベースのユーティリティです
- Face-Wizard
 BIOS ロゴを追加する新しいユーティリティです
- @BIOS Gigabyte Windows ベースの BIOS をフラッシュする ユーティリティです
- Acrobat e-Book Adobe からの便利なユーティリティです
- Acrobat Reader
 Adobe からの普及したユーティリティで、.PDF ファイル形式の文書を読む取ります
- Norton Internet security (NIS)
 ウィルス防止、広告コントロールなどを含む統合ユーティリティ。
 DirectX 9.0
- Microsoft DirectX 9 のインストールで、3D ハードウェアアクセラレーションを 可能にし、オペレーティングシステムの 3D パフォーマンスが改善されま す。

ソフトウェアの情報

このページには当 CD タイトルに収録されているソフトウェアおよびドライバ の一覧が示されています。



ハードウェアの情報

このページには当マザーボード用のデバイス全てが示されています。

VUCD 2.4 B4.0213.1		
GIGABYTE.	This page lists all devices you have for this motherboard.	
	BIOS Info. GA-7VT680 PRO E3 CFU : AND (AuthenricAND) Identifier: x8F Panily & Model & Stepping 0 ProcessionlandStim, 2MD Althouting XP 1900+	
CHIPSET DRIVE	Hemoty size: 261,616 KB RAM	
SOFTWAR	SubSystem ID: 40191458 Beversion : 01	
SOFTWAR	Diversible: All DeSign Diversible: All DeSign Diversible: All Technologies Inc.	
HARDWAR	Vendor ID: 1002 Device ID: 5951 SubSystem ID: 40181458	
CONTACT U	s Si	2
		EXIT

当社への御連絡

全世界の当社本支社へのお問い合わせはこのページをご参照下さい。





FAQ

下記は一般に尋ねられる質問を集めています。特定のモデルのマザーボードに 関する一般的な質問については、<u>http://tw.giga-byte.com/faq/faq.htm</u>にアクセスして ください。

間1:BIOS更新後、以前のBIOSで表示されていたオプションのいくつかが表示 されません。なぜですか?

答:詳細オプションのいくつかは新たなBIOSバージョンでは非表示となってい ます。BIOSメニュー表示後、CtrlとF1キーを同時に押すと、これらのオプション が表示されます。

問2:コンピュータをオフにしてもキーボードや光学マウスのランプが消えないのはなぜですか? 答:ボードによっては、コンピュータをシャットダウンしてもスタンバイ用の

帯: ホートにようでは、コンビュータをシャットラウンしてもスタンハイ用の 微小電流が存在しますので、ランプがついた状態になります。

問3: EasyTune[™] 4の機能を全部は使えないのはなぜですか?
 答: EasyTune[™] 4の機能一覧にあるものが使えるかどうかはマザーボードのチップセットに依存します。チップセットがEasyTune[™] 4のある機能をサポートしていない場合、その機能は自動ロックされて使用できません。

間4:起動HDDをIDE3やIDE4に接続後、RAID対応マザーボードにWin 2000とXP環 境のRAIDおよびATAドライバがインストールできません。なぜですか? 答:まず、ドライバインストールの前にCD-ROM内の幾つかのファイルをフロ ッピーディスクにコピーする必要があります。さらにインストール手順もある 程度異なっています。それで当社ウェブサイト内のRAIDマニュアルに記述され ているインストール手順をご参考になるようお勧めします。 (ダウンロードは<u>http://tw.giga-byte.com/support/user_pdf/raid_manual.pdf</u>)から可能で す。)

問5:CMOSのクリア方法は?

答:ご使用のボードにCMOSクリア用ジャンパーがある場合は、マニュアル中のCMOSのクリア方法をご参照ください。お持ちのボードにそのようなジャンパーがない場合は、オンボードの電池を外してボード電圧を放電させることでCMOSがクリアできます。以下のステップをご参照ください:

ステップ

- 1. 電源をオフにします。
- 2. マザーボードから電源コードを外します。
- 3. 電池を静かに外し、10分ほど放置します(または電池ホルダーのプラス・マイナスピンを金属片で1分間ほどショートさせます)。
- 4. 電池を電池ホルダーに戻します。
- 5. マザーボードに電源コードをつなぎ、電源をオンにします。
- 6. Del を押して、BIOS に入り、Fail-Safe Defaults をロードします。
- 7. 設定を保存し、システムを再起動します。

間6:BIOS更新後、システムが不安定になっているようですが、なぜですか? 答:BIOS フラッシュ後は Fail-Safe Defaults (または BIOS Defaults)をロードするよう にしてください。それでもシステムが安定しない場合は、CMOS をクリアして 問題解決します。

問7:スピーカー音量を最大にしても小さな音しか出ないのはなぜですか? 答:ご使用のスピーカーがアンプ内蔵かどうかご確認ください。アンプ内蔵で ない場合、電源/アンプ付きスピーカーに取り替えてお試しください。

問8:別の VGA カードを装備するので、オンボード VGA カードを無効にしたいのですが、どのようにしますか?

答: Gigabyte 製マザーボードは装着された外付け VGA カードを自動検出するの で、オンボード VGA カードをマニュアルでオフにする必要はありません。

問9: IDE 2 が使用できないのはなぜですか?

答:ユーザーマニュアルを参照し、フロント USB パネル上の USB 過電流ピン に、マザーボードパッケージ付属以外のケーブルを接続していないかご確認く ださい。もしケーブルがマザーボード付属品以外のものなら、それを外し、こ のピンには付属品以外のケーブルを接続しないようにしてください。

間 10:システム起動後、コンピュータから断続的にビープ音が聞こえることが あります。このビープ音にはどんな意味がありますか? 答:下記のビープ音コードはコンピュータに生じている問題を判別するのに役 立つでしょう。ただし、これらは参照用のみです。状況は実際のケースにより 異なります。

- 84 -

→AMI BIOSビープコード * システム起動に成功した場合はコンピュ ータは短くピッと鳴ります。 *ビープコード8以外は、通常起動不能とな ります。 ビープ音1回リフレッシュエラー ビープ音2回パリティーエラー ビープ音 3 回ベース 64K メモリエラー ビープ音4回タイマーエラー ビープ音5回プロセッサエラー ビープ音 6 回 8042ーゲート A20 エラー ビープ音7回プロセッサ割り込み除外エ 5 ビープ音8回ディスプレイメモリリード /ライトエラー ビープ音9回 ROM チェックサムエラー ビープ音10回CMOSシャットダウンレジ スタリード/ライトエラー ビープ音 11 回キャッシュメモリエラー

→AMI BIOSビープコード
 短く1回:システム起動成功
 短く2回: CMOS 設定エラー
 長く1回短く1回: DRAM またはマザー
 ボードエラー
 長く1回短く2回:モニタまたはディス
 プレイカードエラー
 長く1回短く3回:キーボードエラー
 長く1回短く9回:BIOS ROM エラー
 連続した短いビープ音:電源エラー

GA-7VT880 シリーズマザーボード



問 11: SATA HDD から RAID または ATA モードで起動するよう BIOS で設定する方 法は?

答:以下のようにBIOSを設定します:

Advanced BIOS features --> SATA/RAID/SCSI boot order: "SATA"

- 2. Advanced BIOS features --> First boot device: "SCSI"
- 3. Integrated Peripherals --> Onboard H/W Serial ATA: "enable"

その後、SATAモードに関しては、Serial ATA functionという項目からRAIDモードでは"RAID"、通常のATAモードでは"BASE"に設定します。

間 12: RAID 機能対応のマザーボードで、IDE3, 4 から RAID または ATA モードで 起動するよう BIOS で設定するにはどうしますか?

答:以下のようにBIOSを設定します:

- 1. Advanced BIOS features --> (SATA)/RAID/SCSI boot order: "SATA"
- 2. Advanced BIOS features --> First boot device: "SCSI"
- 3. Integrated Peripherals --> Onboard H/W ATA/RAID: "enable"

その後、RAIDモードに関しては、RAID controller functionという項目からRAIDモードでは"RAID"、通常のATAモードでは"ATA"に設定します。

間 13: IDE/SCSI/RAID カードから起動するよう BIOS で設定するにはどうしますか?

答:以下のようにBIOSを設定します:

- 1. Advanced BIOS features --> (SATA)/RAID/SCSI boot order: "SCSI"
- 2. Advanced BIOS features --> First boot device: "SCSI"

その後、RAID/ SCSI BIOS からモード(RAID または ATA)設定します。



GA-7VT880 シリーズマザーボード - 8

- 86 -



上記手順で問題が解決しない場合は、最寄の販売店または国内の代理店に御連絡ください。または、Gigabyte ウェブサイトテクニカルサポートゾーン (http://www.gigabyte.com.tw)へのメールお問い合わせによりご質問ください。迅速 に対応策をお知らせします。

付録

日本語

テクニカルサポート/RMA シート

お各秣/国:		会社:		電話番号:
連絡先:		Eメールアド	レス:	
		1		
モデル名/ロ	∣ット番号	:		PCB バージョン:
BIOS バージ	ジョン:	O.S./A.S.:		
	1	1		
ハードウ	Mfs.	モデル名	サイズ :	ドライバ/ユーティ
エア設定				リティ:
メモリメ				
ーカー名 ビ ゴ エ エ				
ヒナオ ル ード				
カード				
HDD				
CD-ROM /				
DVD-ROM				
モデム				
ネットワ				
ーク				
amr / CNR				
<u>キーボー</u>				
۲. ۲				
マウス				
電源装置				
その他デ				
バイス				

GA-7VT880 シリーズマザーボード - 88 -

付録 E : 略語表

略語表	意味
ACPI	アドバンスドコンフィギュレーションおよびパワーインタフェ
	ース(Advanced Configuration and Power Interface)
APM	アドバンスドパワーマネジメント(Advanced Power Management)
AGP	アクセラレーテッドグラフィックスポート
	(Accelerated Graphics Port)
AMR	オーディオモデムライザー(Audio Modem Riser)
ACR	アドバンスドコミュニケーションライザー
	(Advanced Communications Riser)
BIOS	基本入出力システム(Basic Input / Output System)
CPU	中央処理装置(Central Processing Unit)
CMOS	相補型金属酸化物半導体(Complementary Metal Oxide Semiconductor)
CRIMM	コンティニュイティーRIMM(Continuity RIMM)
CNR	コミュニケーションおよびネットワーキングライザー
	(Communication and Networking Riser)
DMA	ダイレクトメモリアクセス(Direct Memory Access)
DMI	デスクトップマネジメントインタフェース
	(Desktop Management Interface)
DIMM	デュアルインラインメモリモジュール(Dual Inline Memory Module)
DRM	デュアルリテンション機構(Dual Retention Mechanism)
DRAM	ダイナミックランダムアクセスメモリ
	(Dynamic Random Access Memory)
DDR	ダブルデータレート(Double Data Rate)
ECP	拡張機能ポート(Extended Capabilities Port)
ESCD	拡張システム設定データ(Extended System Configuration Data)
ECC	エラーチェックと訂正(Error Checking and Correcting)
EMC	電磁気的互換性(Electromagnetic Compatibility)
EPP	拡張パラレルポート(Enhanced Parallel Port)
ESD	静電放電(Electrostatic Discharge)
FDD	フロッピーディスクデバイス(Floppy Disk Device)
FSB	フロントサイドバス(Front Side Bus)
HDD	ハードディスクデバイス(Hard Disk Device)
IDE	インテグレーテッドデュアルチャンネルエンハンスド
	(Integrated Dual Channel Enhanced)
IRQ	割り込み要求(Interrupt Request)
I/O	入力/出力(Input/Output)
IOAPIC	入出力アドバンスドプログラマブルインプットコントローラ
	(Input Output Advanced Programmable Input Controller)
ISA	工業規格アーキテクチャ(Industry Standard Architecture)
LAN	ローカルエリアネットワーク(Local Area Network)
	つづく

略語表	意味
LBA	論理ブロックアドレッシング(Logical Block Addressing)
LED	発光ダイオード(Light Emitting Diode)
MHz	メガヘルツ(Megahertz)
MIDI	ミュージカルインスツルメントデジタルインタフェース
	(Musical Instrument Digital Interface)
MTH	メモリトランスレーターハブ(Memory Translator Hub)
MPT	メモリプロトコルトランジスター(Memory Protocol Translator)
NIC	ネットワークインタフェースカード(Network Interface Card)
OS	オペレーティングシステム(Operating System)
OEM	受注メーカー(Original Equipment Manufacturer)
PAC	PCI A.G.P.コントローラ
POST	電源投入時セルフテスト(Power-On Self Test)
PCI	ペリフェラルパーツインターコネクト
	(Peripheral Component Interconnect)
RIMM	Rambus インラインメモリモジュール(Rambus in-line Memory Module)
SCI	特殊環境指示(Special Circumstance Instructions)
SECC	Single Edge Contact Cartridge
SRAM	スタティックランダムアクセスメモリ
	(Static Random Access Memory)
SMP	シンメトリックマルチプロセッシング
SMI	システムマネジメントインタラプト
USB	ユニバーサルシリアルバス
VID	電圧 ID



- 91 -

付録

当社への御連絡

全世界の当社本支社へのお問い合わせはこのページをご参照下さい。

台湾

Gigabyte Technology Co., Ltd. Address: No.6, Bau Chiang Road, Hsin-Tien, Taipei Hsien, Taiwan, R.O.C. TEL: 886 (2) 8912-4888 FAX: 886 (2) 8912-4003 Tech. Support: http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues): http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp Website: http://www.gigabyte.com.tw • USA G.B.T. INC. Address: 17358 Railroad St, City of Industry, CA 91748. Tel: 1 (626) 854-9338 Fax: 1 (626) 854-9339 Tech. Support: http://www.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues): http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp Website: http://www.giga-byte.com Germany G.B.T. Technology Trading GmbH Tel: 49-40-2533040 49-01803-428468 (Tech.) Fax: 49-40-25492343 (Sales) 49-01803-428329 (Tech.) Tech. Support: http://de.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues): http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp Website: http://www.gigabyte.de Japan Nippon Giga-Byte Corporation Website: http://www.gigabyte.co.jp • U.K G.B.T. TECH. CO. LTD. Tel: 44-1908-362700 Fax: 44-1908-362709 Tech, Support: http://uk.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues):

• The Netherlands Giga-Byte Technology B.V. Address: Verdunplein 8 5627 SZ, Eindhoven, The Netherlands Tel: +31 40 290 2088 NL Tech.Support: 0900-GIGABYTE (0900-44422983, € 0.2/M) BE Tech.Support : 0900-84034 (€ 0.4/M) Fax: +31 40 290 2089 Tech. Support: http://nz.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues): http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp Website: http://www.giga-byte.nl China NINGBO G.B.T. Tech. Trading CO., Ltd. Tech. Support: http://cn.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm Non-Tech. Support (Sales/Marketing issues): http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp Website: http://www.gigabyte.com.cn Beijing Tel: 86-10-82856054, 86-10-82856064, 86-10-82856094 Fax: 86-10-82856575 Chengdu Tel: 86-28-85236930 Fax: 86-28-85256822 GuangZhou Tel: 86-20-87586273 Fax: 86-20-87544306 Shanghai Tel: 86-21-64737410 Fax: 86-21-64453227 Shenyang Tel: 86-24-23960918, 86-24-23960893 Wuhan Tel: 86-27-87854385, 86-27-87854802 Fax: 86-27-87854031 Xian Tel: 86-29-5531943 Fax: 86-29-5539821

GA-7VT880 シリーズマザーボード

http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp Website: http://uk.giga-byte.com